

## はじめに

新入生の皆さん、同志社大学への入学おめでとうございます！

この冊子では、同志社大学在学中に留学を目指している

皆さんに向けて、様々な情報をお届けします。

新入生の方、在學生の方、また同志社大学への入学希望者の方など

幅広い方を対象にしていますので、以下を参照のうえ、

ご自身の関心に合わせて積極的に情報収集を進めてください。

この冊子の内容は、基礎編と応用編に分かれます。

在学中の留学を実りあるものにするためには、  
早めの準備と計画が大切です。  
ご自身の現在のステージや目標に応じて、  
ぜひ「海外留学ロードマップ2024」を活用してください！

### 基礎編

「留学について初めて調べる」という方は、まず目次ページの「**留学の全体像を知ろう**」、「**留学の情報収集**」を中心に読み進めてみましょう。これらのページで、基本的な情報をおさえた後に、それ以外の項目に進むと具体的な情報や応用的な内容もわかりやすくなるでしょう。

### 応用編

「すでに留学に関して情報収集を行っている」という方は、目次ページから、ご自身の知りたい項目を中心に読み進めましょう。「**留学プログラム**」では各プログラムの詳細情報を調べられますし、「奨学金」や「語学力向上・語学試験における本学のサポート・国際関係科目・留学生との交流」では、留学前に活用できる様々な制度を紹介しています。また「留学と就職活動」で、留学後のイメージをもっておくとよいでしょう。

## CONTENTS

STUDY ABROAD ROADMAP

### 1 留学の全体像を知ろう

同志社大学のグローバル人材育成の特徴	2
大学生活と留学プラン・留学の選び方	4
留学制度概要	6
国際課が管理する語学研修プログラム/ 派遣留学先大学・機関一覧	8
学部・研究科等による留学プログラム	10

### 2 留学の情報収集

留学スケジュール	12
各種相談窓口	14
留学お役立ち情報 （“Go Global” ポートフォリオ:GGP など）	16

### 3 留学プログラム

サマープログラム	18
スプリングプログラム	20
セメスタープログラム	22
EUキャンパスプログラム	24
派遣留学（大学間協定）プログラム	26
留学体験記	28

### 4 留学準備

奨学金	34
語学力向上・語学試験における本学のサポート・ 国際関係科目・留学生との交流	38

### 5 留学中

留学先での生活	43
---------	----

### 6 留学後

留学と就職活動	46
Study Abroad × Career Design Sheet	47
Doshisha “Go Global” Passport	48

### 7 資料・データ編

短期プログラム・EUキャンパスプログラム 統計	49
派遣留学（大学間協定）プログラム 統計	50
関連規程	54

# 同志社大学のグローバル人材育成の特徴



## 同志社大学が育成するグローバル人材とは？

同志社大学が育成するグローバル人材は、異なる文化や価値観を理解・寛容する心を持ち、優れた外国語運用能力や専門知識を「良心を手腕に運用する」ことのできる人物です。在学中の様々な経験や出会いを通じて、広い視野と多様性を尊重する心を培っていくとともに、自身の専攻に関する専門的な知識や、コミュニケーションツールとしての優れた外国語運用能力を習得し、「良心」をもってグローバル化した社会における多様な舞台で活躍してほしいと考えています。大学を卒業して進む道は、皆さん一人ひとりが決めることです。自分が進むべき道を決める上で必要となる知識や経験を、同志社大学で提供される科目やプログラム、交流、サポートを通じて体得してください。

1 留学する、しないを問わず、自分に合ったプログラムを通してグローバル人材に成長できる！

### 留学型

留学「前」と「後」の徹底サポートを通して、より一層留学経験の成果を上げる

### 国内型

国内にしながら、グローバルな視野と外国語運用能力を養う

2 目標を「見える化」する本学独自のシステムを用いてモチベーションを高めながら学べる！

### “Go Global” ポートフォリオ

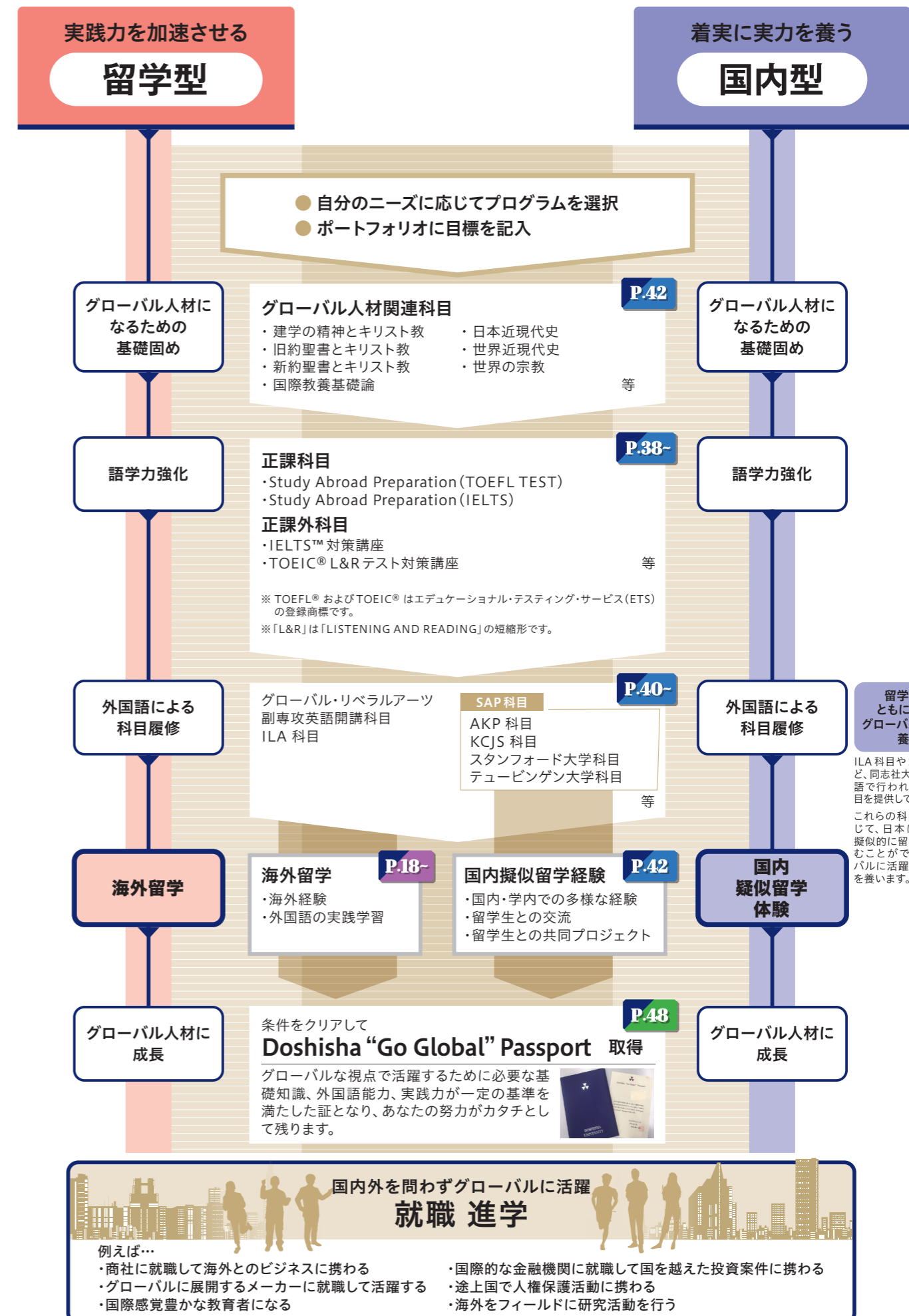
ここでチェック [https://international.doshisha.ac.jp/oia/goglobal\\_portfolio/goglobal\\_portfolio.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/goglobal_portfolio/goglobal_portfolio.html)



3 「グローバル人材」の条件を満たす学生には、その証明を授与！

### Doshisha “Go Global” Passport

ここでチェック [https://international.doshisha.ac.jp/oia/goglobal\\_passport/goglobal\\_passport.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/goglobal_passport/goglobal_passport.html)



# 大学生活と留学プラン

大学生活を有意義なものにするためには、「留学に行くこと」だけでなく留学準備はもちろんのこと、留学後の大学生活をシミュレーションすることがとても大切です。このページを参考にしながら、P.47「Study Abroad × Career Design Sheet」を作成してみましょう。

### 1 大学生活のプランニング

学業履修、課外活動、資格取得、留学、進学・就職など、在学中に取り組みたいことをリスト化して優先順位をつけてみましょう。(いつ頃始めるのかも含めてスケジュール作成してみましょう。)



### 2 情報収集

あなたのリストにあがった事項についての情報収集をしましょう。大学HPや所属学部事務室や学生支援センターが発行している冊子を参考にしたり、実際に窓口にお問い合わせしたりするのもおすすめです。留学に関する相談や情報収集については、この冊子のp.14~17を参照するか国際課にお問い合わせください。

### 3 留学プログラムの選定

留学に行く動機や目的は人によって様々です。P.5「留学の選び方」やP.6「留学制度概要」を参考にしながら、ご自身にあった留学プログラムを選びましょう。また留学説明会やイベントの情報もチェックし、積極的に参加しましょう。

### 4 留学準備(出願前)

留学プログラムでは、留学生活を継続するための資金が必要となり、また出願時に語学要件が求められることがあります。詳細はP.34~「留学準備」を参照し大学内外で利用できる制度について調べたり、家族に相談したりすることで、着実に留学準備を進めましょう。

### 5 学内出願・選考

応募する留学プログラムにより、出願時期や要件が異なります。P.18~「留学プログラム」や国際課HPを参照し、準備を整えたくて出願・選考に臨んでください。



### 6 留学準備(出願後)

学内出願・選考が終わったら、留学に向けての本格的な準備が始まります。協定校への本出願、ビザや航空券の手配など国際課の指示に従って進めましょう。



### 7 留学

いざ、留学先へ。期待とともに不安もあるかと思います。P.43~「留学中」を参照し、留学先での生活について予めイメージしておくといいでしょう。



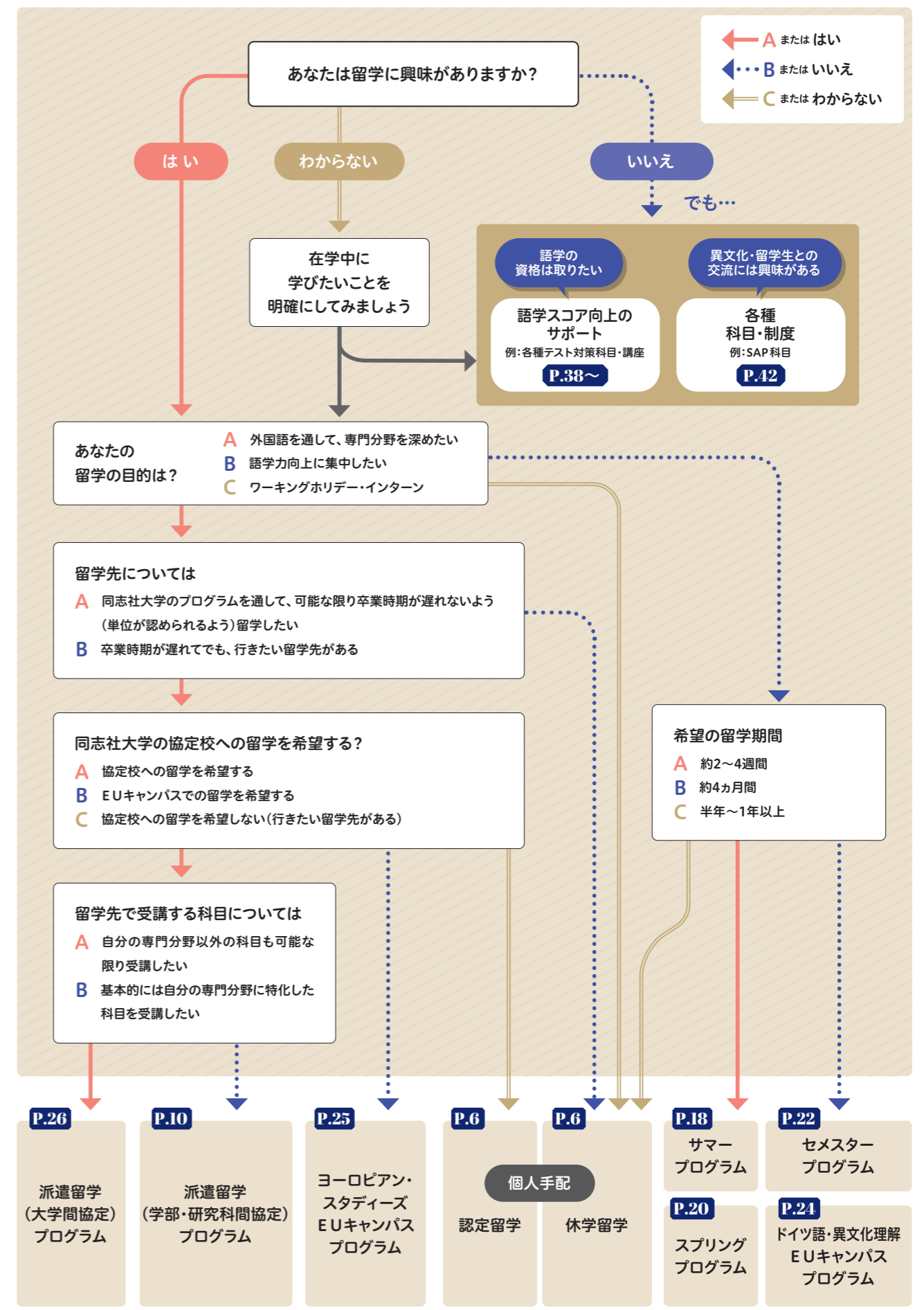
### 8 帰国後

留学中から定期的に振り返りを行い、自分にとっての留学の意義を考える習慣をつけましょう。それにより、帰国後の生活(学業履修、課外活動、進学・就職など)をどのようにプランニングするかが見えてきます。帰国後は、積極的に行動に移しましょう。P.46「留学と就職活動」も参考にしてください。



**大学生活の全体像をシミュレーションしよう!**

# 留学の選び方



留学の全体像を知ろう  
留学の情報収集  
留学プログラム  
留学準備  
留学中  
留学後  
資料・データ編

留学の全体像を知ろう  
留学の情報収集  
留学プログラム  
留学準備  
留学中  
留学後  
資料・データ編

# 留学制度概要

## 「語学力向上」または「専門科目学習・研究」を目的とした留学プログラム

留学種別	期間	概要	詳細
サマープログラム	2~4週間	同志社大学の夏期または春期休暇中に実施する「語学力向上」が主目的のプログラムです。研修先の生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて、高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。	P.18, P.20
スプリングプログラム			
セメスタープログラム	1セメスター	同志社大学の秋学期期間中に実施する「語学力向上」が主目的のプログラムで、英語を集中的に海外の大学附属語学学校で学びます。4か月にわたって現地で学ぶことにより、高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。	P.22
EUキャンパスプログラム	1セメスター	同志社大学の春学期または秋学期期間中に、ドイツ・チュービンゲン大学内にある「同志社大学チュービンゲンEUキャンパス」にて実施するプログラムです。春学期にはドイツ語の運用能力向上や、ドイツ・EUの異文化や価値観への理解を深めることを目的とした「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」を、秋学期には英語または日本語でドイツやヨーロッパについての学びを深めることを目的とした「ヨーロピアン・スタディーズEUキャンパスプログラム」を開講しています。	P.24
派遣留学	1セメスター/ 1年間	同志社大学が学生交換協定を締結している海外の大学(海外協定校)で「留学先の言語で専門分野の学習や研究を行うこと」が主目的のプログラムです。原則として、現地の大学で学部・大学院レベルの科目を履修します。「大学間協定」(担当部署:国際課)と「学部・研究科間協定」(担当部署:各学部・研究科事務室)の2種類があります。	P.26
認定留学	個人による	学生個人で手配し、本人からの申請に基づき、本学の審査・了承を得て、海外の大学またはこれに相当する高等教育機関に「在学留学」として留学する制度です。大学実施のプログラムではないため、基本的に本学のサポートは受けられませんが、留学期間は在学と見なされる他、留学先で取得した単位を単位認定申請できる可能性があります。	—
休学留学	個人による	学生個人で手配し、本学を休学して自主的に行う留学です。大学実施のプログラムではないため、基本的に本学のサポートは受けられませんが、留学先機関(大学や語学学校など)や留学期間を柔軟に選択することができます。	—

## アーモスト大学への留学生派遣制度

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/other/amherst.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/other/amherst.html)



同志社の創立者である新島襄が卒業したアメリカ屈指のリベラルアーツカレッジであるアーモスト大学に編入する制度です。本制度で派遣される留学生は、アーモスト大学の3年生に正規学生として編入し、正規の課程を修了すれば2年後にはアーモスト大学の卒業生となることが出来ます。「新島スカラー」と「同志社新島スカラー」の2種のいずれか(両スカラーともに、授業料および寮費・食費相当額を2年間にわたって支給する奨学金)のもと、同志社から毎年1名がアーモスト大学へ派遣されます。詳しくは、学校法人同志社ホームページをご参照ください。  
<http://www.doshisha.ed.jp/works/scholar.html>



## 留学と卒業/費用の関係

	履修科目による留学	卒業要件		留学に掛かる費用			本学を通して申請可能な奨学金制度
		留学期間の修業年限への算入	留学中に修得した単位の認定	学費		その他	
				本学の学費	留学先の学費	諸費用(例:住居費、往復渡航費等)	
	サマープログラム スプリングプログラム セメスタープログラム ドイツ語・異文化理解 EUキャンパスプログラム 学部・研究科の科目 等	○	— 科目として登録するため、合格時に科目の単位を修得	○	○ (プログラム費用に含まれる)※	○ (プログラム費用に含まれる)	○
	派遣留学	○	○	○	× [[学費負担型]・ブリッジプログラムを除く]	○	○
	ヨーロピアン・スタディーズ EUキャンパスプログラム	○	△ 一部は科目として登録するため、合格時に科目の単位を修得	○	×	△ (往復渡航費はプログラム費用に含まれない)	○
	認定留学	○	○	○	○	○	○
	休学留学	×	×	— 別途、休学在籍料の納入が必要	○	○	× (一部を除く)

※ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラムは、留学先の学費が免除される。

# 国際課が管理する語学研修プログラム／派遣留学先大学・機関一覧

(2024年3月現在)

## ヨーロッパ

### アイルランド

- コーク・カレッジ大学
- ★ ダブリン・シティ大学人文社会科学部

### アゼルバイジャン

- ★ ハザール大学

### イギリス

- ★ ウォーリック大学
- ★ エディンバラ大学
- ★ ケンブリッジ大学
- セントキャサリンズコレッジ
- ★ シェフィールド大学
- ★ マンチェスター大学
- ▲ ヨーク大学
- ★ リーズ大学
- ★ ロンドン大学(SOAS)

### イタリア

- ★ ヴェネツィア大学
- ★ トリノ大学
- ★ ボローニャ大学
- ★ ミラノ大学言語文化・異文化コミュニケーション学科
- ★ ローマ大学

### オランダ

- ★ ハーグ応用科学大学
- ★ ライデン大学

### スイス

- ★ チューリッヒ大学
- ★ ルツェルン大学

### スウェーデン

- ★ ヨーテボリ大学経済商法学部

### スペイン

- ▲ ★ サラマンカ大学
- ★ サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学
- ★ バルセロナ自治大学
- ★ ボンベウファブラ大学

### チェコ

- ★ カレル大学
- ★ 西ボヘミア大学
- ★ マサリク大学

### デンマーク

- ★ オーフス大学教養学部

### ドイツ

- ◆ ★ テュービンゲン大学
- ★ デュッセルドルフ大学
- ▲ フライブルク大学
- ★ フランクフルト大学
- ★ マインツ大学
- マルティン・ルター大学
- ★ ミュンヘン大学文化学部
- ★ オスナブリック大学

## 中近東

### イスラエル

- ★ ヘブライ大学

### ノルウェー

- ★ オスロ大学
- ★ ベルゲン大学

### ハンガリー

- ★ エトヴェシュ・ロラーンド大学
- ★ ペーチ大学

### フィンランド

- ★ イースタン・フィンランド大学
- ★ タンペレ大学
- ★ ヘルシンキ大学

### フランス

- ★ エクス・マルセイユ大学
- ★ エクセリア・グループ
- ▲ CAVILAM (クレルモン・フェラン大学監修)
- ★ 国立東洋言語文化大学
- ★ サンジェルマン・アン・レー 政治学院
- ★ ストラスブール大学
- ★ ソルボンヌ大学文系学部
- ★ パリ政治学院
- ★ パリ大学-ナンテール
- フランシュ=コンテ大学
- ★ リヨン政治学院
- ★ レンヌ政治学院

### ベルギー

- ★ トマスモア応用科学大学
- ★ ブリュッセル自由大学

### ポーランド

- ★ ヤギェウォ大学
- ★ ワルシャワ大学

### リトアニア

- ★ ヴィータウタス・マグナス大学

### ルーマニア

- ★ ブカレスト大学

### ロシア

- ★ ロシア国立サンクトペテルブルク 経済大学

## アジア

### 中国

- ▲ 華東師範大学
- ★ 吉林大学
- ★ 四川大学
- ★ 暨南大学
- ★ 重慶郵電大学
- ★ 西安交通大学
- ★ 清華大学
- ★ 西北大学
- ★ 浙江農林大学
- ★ 中国人民大学
- ★ 天津外国語大学
- ★ 東北師範大学
- ★ 武漢大学
- ★ 復旦大学
- ★ 北京師範大学
- 北京大学
- ★ 北京大学歴史学部

### 中国・香港

- ★ 香港教育大学
- ★ 香港城市大学
- ★ 香港中文大学
- ★ 嶺南大学

### 韓国

- ★ 仁川大学
- ★ 韓国外国語大学
- ▲ 慶熙大学
- ★ 高麗大学
- ★ ソウル市立大学
- ★ ソウル女子大学
- ★ ソウル大学
- ★ 全南大学
- ★ 延世大学
- ★ 梨花女子大学
- ★ 嶺南大学

### トルコ

- ★ サバンチ大学
- ★ 中東工科大学

### 台湾

- ★ 国立政治大学
- ★ 国立台湾師範大学
- ★ 国立台湾大学
- ★ 静宜大学
- ★ 淡江大学
- ★ 中国文化大学
- ★ 東呉大学
- ★ 輔仁大学

### フィリピン

- ★ アテネオ・デ・マニラ大学
- ▲ セブ医科大学提携 Campus Language Center
- ★ デラサール大学
- ★ フィリピン大学ディリマン校

### マレーシア

- ★ マラヤ大学
- ★ マレーシア科学大学
- ★ マレーシア国際イスラーム大学

### タイ

- ★ タマサート大学
- ★ チュロンコン大学
- ★ パヤップ大学

### ベトナム

- ★ ハノイ工科大学

### インドネシア

- ★ ガジャマダ大学

## オセアニア

### オーストラリア

- ★ ウーロンゴン大学
- ★ サンシャイン・コースト大学
- ★ シドニー大学
- ★ チャールズ・ダーウィン大学
- ★ ディーキン大学
- ★ ニューイングランド大学
- ★ ニュー・サウス・ウェールズ大学
- ▲ ホーソン・メルボルン英語学校
- ★ マドック大学
- ★ マッコリー大学
- ★ メルボルン大学

### ニュージーランド

- ★ ウェリントン・ビクトリア大学
- ▲ オークランド大学
- ▲ オタゴ大学

## 北中南米

### カナダ

- ウィニペグ大学
- ゲルフ大学
- トンプソン・リバーズ大学
- ★ ビクトリア大学
- ★ ビショップス大学
- ★ プリティッシュ・コロンビア大学
- ★ モントリオール大学文理学部
- ★ レイクヘッド大学
- ★ ロイヤルローズ大学

### アメリカ

- ★ アーモスト大学 [AKP]
- ★ ウィットマン大学 [AKP]
- ★ ウィリアムズ大学 [AKP]
- ★ ウェズリアン大学 [AKP]
- ★ オーバリン大学 [AKP]
- ★ カールトン大学 [AKP]
- ★ コネチカット大学 [AKP]
- ★ コルビー大学 [AKP]
- ★ スミス大学 [AKP]
- ★ バックネル大学 [AKP]
- ★ ベイツ大学 [AKP]
- ★ ボモナ大学 [AKP]
- ★ マウントホリヨーク大学 [AKP]
- ★ イェール大学 [KCJS]
- ★ エモリー大学 [KCJS]
- ★ コーネル大学 [KCJS]
- ★ コロンビア大学 [KCJS]
- ★ シカゴ大学 [KCJS]
- ★ スタンフォード大学 [KCJS]
- ★ バージニア大学 [KCJS]
- ★ ハーバード大学 [KCJS]
- ★ ブラウン大学 [KCJS]
- ★ プリンストン大学 [KCJS]
- ★ ペンシルベニア大学 [KCJS]
- ★ ボストン大学 [KCJS]
- ★ ワシントン大学セントルイス [KCJS]
- ★ アーカンソー工科大学
- アリゾナ大学

### ★ ウェスタンミシガン大学

- ★ エンブリーリドル航空大学
- ★ カラマズ大学
- ★ カリフォルニア大学バークレー校
- ★ カリフォルニア大学デービス校
- ▲ ★ カリフォルニア大学アーバイン校
- ★ カリフォルニア大学ロサンゼルス校
- ★ カリフォルニア大学メルセド校
- ★ カリフォルニア大学リバーサイド校
- ★ カリフォルニア大学サンディエゴ校
- ★ カリフォルニア大学サンフランシスコ校
- ★ カリフォルニア大学サンタバーバラ校
- ★ カリフォルニア大学サンタクルーズ校
- ★ コロラド大学ボルダー校
- ★ サルベ・レジーナ大学
- ★ サンディエゴ州立大学
- ★ セント・メアリーズ大学
- ★ デンバー大学
- ★ ニューオーリンズ大学
- ★ ネブラスカ大学カーニー校
- ★ ノースカロライナ大学シャーロット校
- ★ ハワイ大学ヒロ校
- ★ ■ ハワイ大学マノア校
- ★ ポートランド州立大学
- ★ マレー州立大学
- ★ ミズーリ大学
- ★ ミリケン大学
- ★ モンタナ大学
- ★ ユタ大学
- ★ リンフィールド大学
- ★ ロチェスター工科大学

### アルゼンチン

- ★ トルキエアート・ディ・テラ大学

### チリ

- ★ チリ・カトリカ大学

### メキシコ

- ★ ラス・アメリカス大学

[AKP] Associated Kyoto Program (AKP) 加盟校  
[KCJS] Kyoto Consortium for Japanese Studies (KCJS) 加盟校

# 学部・研究科等による留学プログラム

## 派遣留学(学部・研究科間協定)プログラム

学部・研究科が独自に海外大学と学生交換協定を締結しているプログラムです。学部・研究科の研究分野に合致した協定先であることが多く、学業上の相関関係が高いことが特徴です。このプログラムには、所属している学部・研究科の学生のみが参加できます。派遣留学(学部・研究科間協定)プログラムは、原則として大学間協定と同様、留学期間中も本学に在学し、留学期間は卒業に必要な在学期間である修業年限(学部生は4年)に算入されます。また、留学中に修得した単位の認定を申請することもでき、留学先大学の学費は免除されます。ただし、プログラムによっては取扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、所属学部・研究科にご確認ください。

## 学部・研究科間協定校一覧

学部・研究科	大学名	国名	備考
神学部・神学研究科	ハイファ大学人文学部	イスラエル	
	メソジスト神学大学校	韓国	
文学部・文学研究科	チューリヒ大学神学部	スイス	
	国立政治大学文学院	台湾	
	ケルン大学人文学部	ドイツ	
社会学部	ケルン大学人文学部	ドイツ	
	復旦大学社会発展・公共政策学院	中国	
社会学部・社会学研究科	華東理工大学社会・公共管理学院	中国	
	中央大学校社会科学部社会福祉学科	韓国	
法学部	アリゾナ大学ロースクール	アメリカ	ダブルディグリープログラム
	モントリオール大学法学部	カナダ	
法学部・法学研究科	チューリヒ大学法学部	スイス	
	東亜大学法学院	台湾	
	トゥールーズ第1大学法政治学部	フランス	
	シエナ大学	イタリア	
	雲南大学法学院	中国	
	中国政法大学	中国	
	チュービンゲン大学法学部	ドイツ	
法学研究科	チューリヒ大学法学部	スイス	ダブルディグリープログラム
	タマサート大学法学部	タイ	ダブルディグリープログラム
	中国人民大学法学院	中国	ダブルディグリープログラム
	中国人民大学国際関係学院	中国	
	ベトナム国家大学ハノイ校法学部	ベトナム	
	東呉大学法学院	台湾	ダブルディグリープログラム
	リーズ大学教育学・社会科学・法学部	イギリス	ダブルディグリープログラム
	中国政法大学	中国	ダブルディグリープログラム
	ミラノ大学社会政治学部	イタリア	
	デュースブルク=エッセン大学メルカトール経営学院	ドイツ	
商学部	慶星大学商経学部	韓国	
	延世大学校経営学部	韓国	
	マレーシア科学大学経営学部	マレーシア	
	国立高雄大学管理学部	台湾	
	チュラロンコン大学経済学部	タイ	
	ベルリン自由大学経営・経済学部	ドイツ	
文化情報学部	中国人民大学統計学院	中国	
	デュッセルドルフ大学芸術人文学部	ドイツ	
	高麗大学政治経済学部	韓国	
	淡江大学外国語文学院	台湾	
	国立高雄大学人文社会科学部	台湾	
文化情報学研究科	国立中山大学文学部	台湾	
	湖南大学	中国	
理工学部・理工学研究科	国立高等師範学校アルピ・カルモ一校	フランス	ダブルディグリープログラム
	ザールラント大学第8学部	ドイツ	
	アテネオ・デ・マニラ大学理工学科	フィリピン	
	キングモンクット工科大学ラートクラバン校	タイ	
	ノルウェー科学技術大学	ノルウェー	
	西ポヘミア大学 機械工学部	チェコ	
	モントリオール理工科大学	カナダ	
理工学研究科	マレーシア科学大学	マレーシア	
	汕頭大学 工学院・理学院	中国	
	ハノイ工科大学電気工学部	ベトナム	
	西安交通大学 大学院	中国	ダブルディグリープログラム
	大連理工大学 物理学院	中国	
	西安電子科技大学	中国	ダブルディグリープログラム
ユルドゥス工科大学理工学研究科	トルコ		

学部・研究科	大学名	国名	備考
理工学部・理工学研究科 / 生命医科学部・生命医科学研究科	ウィーン工科大学	オーストリア	ダブルディグリープログラム
	モンズ大学	ベルギー	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル リール	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル リヨン	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル マルセイユ	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル ナント	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル パリ セントラルスピレック	フランス	ダブルディグリープログラム
	リール国立化学高等専門学校	フランス	ダブルディグリープログラム
	ミラノ工科大学	イタリア	ダブルディグリープログラム
	チェコ工科大学	チェコ	
	パリ国立高等師範学校	フランス	
	ソルボンヌ大学理工学部	フランス	
	パリ・シテ大学基礎生物医工学部	フランス	
	エクス・マルセイユ大学理学部およびポリテック・マルセイユ	フランス	
	パリ市立工業物理化学高等専門学校	フランス	ダブルディグリープログラム
	マドリッド工科大学生産工学部・通信工学部・情報工学部	スペイン	ダブルディグリープログラム
	リスボン大学高等工科学院	ポルトガル	
生命医科学部・生命医科学研究科	オットー・フォン・ゲーリケ大学マクデブルク コンピュータサイエンス学部	ドイツ	
	カーディフ大学視覚光学部	イギリス	
スポーツ健康科学部	オスナブルック大学教育文化学部スポーツ運動学科	ドイツ	
	チュービンゲン大学経済学・社会学部スポーツ科学研究所	ドイツ	
	ミュンスター大学心理学・スポーツ科学部スポーツ運動科学研究所	ドイツ	
	マドリッド工科大学 身体活動・スポーツ科学部	スペイン	
グローバル・コミュニケーション学部	アケイディア大学	カナダ	
	サウサンプトン大学	イギリス	
	サセックス大学	イギリス	
	パリ・シテ大学	フランス	
グローバル地域文化学部	東海大学文学院	台湾	
	延世大学校人文芸術大学国語国文学科	韓国	
グローバル・スタディーズ研究科	社会科学高等研究院	フランス	ダブルディグリープログラム
	オールボー大学	デンマーク	
ビジネス研究科	中国人民大学商学院	中国	
	チュービンゲン大学経済社会学研究科	ドイツ	
	ヨーテボリ大学大学院経済商法学研究科	スウェーデン	
	国立台湾師範大学管理學院	台湾	
	ガジャ・マダ大学経済ビジネス学部	インドネシア	
国際教育インスティテュート (ILA)	スタヴァンゲル大学 ビジネススクール	ノルウェー	
	IE 大学	スペイン	
	ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン社会・歴史学部人類学科	イギリス	
	マストリヒト大学 マストリヒトカレッジ	オランダ	

## 正課科目での海外渡航プログラム

学部等において、専門分野に関連した内容等により、正課科目として海外に渡航するプログラムを実施しています。詳しくは、実施学部等にご確認ください。

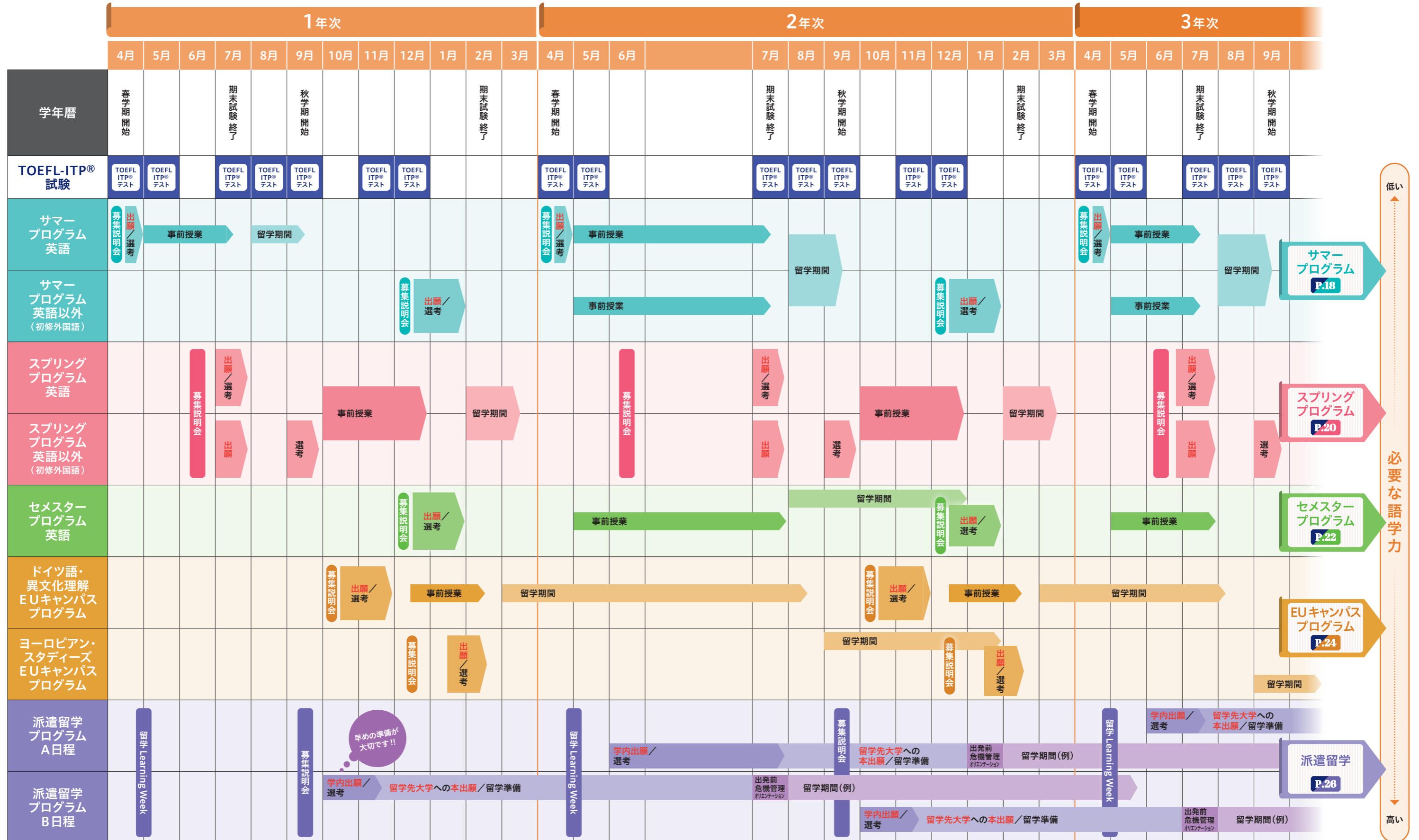
## プログラム一覧

実施学部等	科目名	渡航国・地域	渡航先機関・概要	渡航期間
神学部	宗教と国際社会 -バングラデシュで学ぶ国際社会の課題-	バングラデシュ	ゴバルガンジ 児童養護施設や小学校、シュンドルボン マングローブ林 他	8月(約1週間)
文学部	西洋・東洋文化史実地演習	台湾	台南・台北の史跡探究と国立政治大学での講義と学生交流	9月(約1週間)
社会学部	国際社会福祉実習 異文化体験実習	アメリカ カナダ	ハワイ大学 他 ビクトリア大学、Steveston 地域訪問 他	9月(約2週間) 9月(約1週間)
法学部	特殊講義A	台湾	国立中正大学	8月(約2週間)
商学部	海外ビジネスII	アメリカ	ロサンゼルスの日系企業訪問 他	9月(約1週間)
文化情報学部	体験型教養科目 -Open Doors Program:Exploring New Orleans-	アメリカ	ニューオーリンズ大学	3月(約2週間)
	体験型教養科目 -Short Program in Heinrich Heine University-	ドイツ	デュッセルドルフ大学	7月～8月(約1か月)
理工学部	学外実習1	フィリピン	セブでの語学研修、日系企業訪問	2月～3月(約2週間)
生命医科学部	特別講義-海外企業体験-	ドイツまたはイギリス	現地日系企業訪問 他	9月(約2週間)
	海外キャリアリサーチ	アメリカ	ロサンゼルスでの語学研修、カリフォルニア大学アーバイン校 他	8月～9月(約3週間)
スポーツ健康科学部	インターンシップ演習	韓国	現地日系企業訪問	8月～9月(約2週間)
	スポーツ健康科学特殊講義S	カナダ	トロント、バンクーバー	3月(約1週間)
	スポーツ健康科学特殊講義S	ドイツ	ドイツのスポーツ施設他	8月～9月(約1週間)
グローバル地域文化学部	海外インターンシップ	オーストラリア	メルボルンの現地企業訪問 他	8月～9月(約2週間)
	海外語学プログラム(英語)I・II・III	アメリカ	ウェスタン・ミシガン大学	8月～12月(約4か月)
国際教養教育院	Freshman "Go Global" Program	ベトナム	ホーチミン訪問	2月～3月(約1週間)
	Freshman "Go Global" Program	ドイツ 他	同志社大学チュービンゲンEUキャンパス 他	2月～3月(約1週間)
	Mid-college "Be Strong" Program	アメリカ	ワシントンDC訪問	8月～9月(10日間)

※科目の開講や渡航先・期間は年度によって異なります。詳しくは、実施学部等にご確認ください。  
※上記以外に学部・研究科独自の海外渡航プログラムがある場合があります。詳細は、各学部・研究科にご確認ください。

# 留学スケジュール

- 下記スケジュールは変更になる可能性があるため、国際課HP/掲示板にて最新の情報をご確認ください。
- 下記派遣留学の「本出願(=本学の候補者となった後に、留学先大学へ出願書類を準備すること)」の時期は、留学先により異なります。



※ TOEFL® はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。

留学の情報収集  
留学プログラム  
留学準備  
留学中  
留学後  
資料・データ編

必要な語学力  
低い  
高い

留学の全体像を知ろう  
留学の情報収集  
留学プログラム  
留学準備  
留学中  
留学後  
資料・データ編

留学の全体像を知ろう  
留学の情報収集  
留学プログラム  
留学準備  
留学中  
留学後  
資料・データ編

# 各種相談窓口

相談内容	相談窓口	今出川校地	京田辺校地
派遣留学(大学間) サマープログラム スプリングプログラム セメスタープログラム EUキャンパスプログラム 留学に関する奨学金	国際課 ■留学コーディネーター ■Go Global Assistant ■アーモストフェロー	扶桑館1階	嗣業館1階
単位認定の方法 派遣留学(学部・研究科間) 認定留学	所属学部・研究科	—	—
外国語教育科目の登録方法 語学カウンセリングの予約	教務センター 外国語教育科目 担当窓口	良心館1階	成心館1階
就職活動	キャリアセンター	寒梅館2階	嗣業館1階

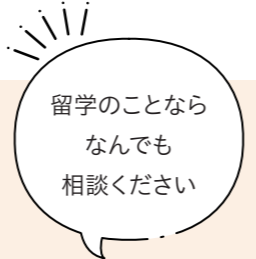
P.7  
P.38  
P.46

## ■ 留学コーディネーター

本学では、グローバルに活躍することを目指す皆さんに快適な学習環境を提供するため、多文化交流の拠点となる「Global Village」や「国際交流ラウンジ」があり、留学相談に応じる留学コーディネーターを配置しています。留学コーディネーターは、一人ひとりの皆さんと留学プランについて話し合い、プログラムの選択、準備方法、留学中の活動や注意点、さらに留学後の取り組みを具体化することでグローバル社会で活躍するための能力を最大限に高めることを支援しています。また、在学中には特に留学を予定していない皆さんにも、グローバル人材として求められる語学力向上、異文化適応能力、海外の人たちとのコミュニケーション能力等の向上に活用できる学内の活動やプログラムの紹介等もワンストップサービスで提供しています。事前予約は不要ですが、予約がある場合は予約を優先とします。海外経験豊富なスタッフにお気軽にご相談ください。

相談場所・時間  
<https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/coordinator.html>

<b>今出川校地</b> 良心館2階ラーニング・commons (Global Village) 月・火・木・金曜日 9:00~17:00	
<b>京田辺校地</b> 嗣業館1階国際課 水曜日 9:00~17:00	



留学コーディネーター 後藤道代

## 留学コーディネーターからのメッセージ

日本の外に出て学ぶという経験は、視野を広げ、その後の人生に影響を与えてくれるものです。国内にいても、世界の情報を得ることはできますが、留学との決定的な違いは、留学先では自分がマイノリティになるという経験だと思います。その経験が、視点を変えて世界を見ること、異文化への深い理解や、自己理解へとつながるのです。思考の柔軟な学生時代にこそ、今いる環境から出てみる機会を見つけて、多様なあふれる世界を肌で感じてみてください！進路に迷ったときはいつでも気軽に相談してください。皆さんとの出会いを楽しみにしています。  
“Go Global” ポートフォリオ内に設定しているコミュニティ、「留学コーディネーターに聞いてみよう」に、留学や語学に関連したテーマで記事を投稿しています。ぜひ一度覗いてみてください。

### FAQ よくある相談

- 留学してみたいけど、何から始めたらいいの？ 留学に向けてどんな準備をすればいいの？
- 大学の選び方は？ 利用できる奨学金はありますか？
- 卒業後の進路や大学院留学について悩んでいます…

## ■ Go Global Assistant <https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/assistant.html>



今出川キャンパスのGlobal Village(ラーニング・commons内)では、Go Global Assistant(留学アシスタント)が、皆さんの疑問や相談にお答えします。留学アシスタントは、同志社大学で学ぶ世界各国からの外国人留学生です。同年代の様々なバックグラウンドを持つ世界の優秀な学生たちと意見を交換し合う良い機会となりますので、語学力を気にすることなく、お気軽にお越しください。



## ■ アーモストフェロー

アーモスト大学は、アメリカを代表する名門リベラルアーツ・カレッジの1つです。また同志社の創立者・新島襄が学んだことでも知られており、帰国後の新島が京都で設立した同志社は、アーモスト大学がモデルとなっています。両大学の間には深い交流が今なお続いており、アーモスト大学から、毎年「Amherst Doshisha Fellow (通称:アーモストフェロー)」が客員研究員として来校し、両大学の交流促進に努めています。その交流の一環として、今出川キャンパスおよび京田辺キャンパスで、アーモストフェローと自由に交流できるオフィスアワーを週1回、各校地で実施しています。開催曜日やスケジュールなど、詳細については右記URLまたはQRコードにてご確認ください。アメリカの大学や留学に興味がある方や英語での会話を楽しみたい方等、アーモストフェローとの交流を希望する方は、ぜひご参加ください。

2023-2024年度 オフィスアワー  
[https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/amherst\\_fellow.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/consultation/amherst_fellow.html)

<b>今出川校地</b> 良心館2階ラーニングcommons Global Village	
<b>京田辺校地</b> 嗣業館1階国際交流ラウンジ	

## AMHERST FELLOW

### ～アーモストフェローと交流してみませんか～

同志社大学の外国協定大学のひとつであり、新島襄も学んだ全米有数のリベラルアーツカレッジであるアーモスト大学から、「Amherst Doshisha Fellow (通称:アーモストフェロー)」が本学に来校し、両大学の交流促進に努めています。



こんにちは同志社大学のみなさん、  
エドモンド・ケネディです。  
私は現在シカゴ大学の博士課程で勉強している学生で、  
第63代アーモスト・同志社フェローです。  
みなさんとお会いできることを楽しみにしています！  
音楽、映画、本が大好きです。いろんなことを  
お話ししましょう！ぜひお立ち寄りください。





# 留学お役立ち情報 (“Go Global” ポートフォリオ:GGPなど)

**Q** 留学についての情報はどこで調べたいの？

**A** 相談窓口 (p.14参照) を利用する他、以下の冊子やシステムをご活用ください！

冊子/システム	特長	配付・掲載場所
海外留学ロードマップ2024 (本冊子)	留学全般に関してまとめた冊子。派遣留学/サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムの他、大学外のプログラム(認定留学、休学留学など)についても扱うため、留学の全体像を把握するためにも便利。	新入生に配布 両校地 国際課 国際課 HP
募集要項	正式名称は同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項。派遣留学(大学間)の出願や選考に関して、スケジュールや留意点等を記載。年度ごとに異なるため最新版を入手すること。	両校地 国際課 国際課 HP
	サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムの出願・選考に関する内容や、各プログラムの研修内容等の詳細を記載。年度ごとに異なる内容のため、最新版を入手すること。	募集説明会で配布 両校地 国際課 国際課 HP
プログラムリスト	派遣留学(大学間)の募集大学や出願要件等のリストを掲載。出願時期の直前に更新されるため、最新情報のチェックが必須。	国際課 HP GGP
協定校 info	大学間協定を締結している各大学の基本情報、履修情報、出願に関する情報を掲載。過去の派遣学生の報告書も参照可。	GGP
留学体験記・アンケート	サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムに参加した学生の留学体験記とアンケートを掲載。	GGP
同志社大学ポータル	留学関連の情報を国際課から定期的に発信。	専用アプリを ダウンロード

**Q** GGP (“Go Global” ポートフォリオ) って何？

**A** GGPは同志社大学生限定の留学支援ウェブシステムです(大学から付与されたユーザーIDとパスワードが必要)。留学に関する情報収集ができる他、派遣留学、サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムの「WEB出願」に利用します。これらのプログラムに関心のある方は、必ず以下を熟読のうえ、設定をしてください！

## Step 1 GGPへログインしよう！

同志社大学 Web シングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から「Go Global」ポートフォリオを選択。IDとパスワードは入学時に受け取る「ユーザーID通知書」を参照。

<https://sso.doshisha.ac.jp>

## Step 2 初期設定をしよう！

設定をしよう！

### 【プロフィールの設定】

①「設定」をクリック→②「プロフィール編集」をクリック

アイコンを設定したうえで、詳細プロフィールを入力し、「保存」をクリック(設定完了)

【リマインダ設定】※設定により大学からの通知がメールで届きますので必ず設定を！

①「設定」をクリック→③「リマインダ設定」をクリック

まず、一番上の項目の『リマインダ』を『受信する』を必ず選択すること

その他、以下の6つの項目を『受信する』として、

最後に「保存してテストメールを送信」をクリック(設定完了)

- お知らせ
- コースニュース
- レポート開催通知
- コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ
- レポート提出のお知らせ
- 自分のポートフォリオのコレクションについてのコメントのお知らせ



## Step 3 マイページ(トップページ)から情報検索してみよう！

### ④ マイコース

参加予定(参加中)のプログラムに応じて、国際課でコースを設定します(●年度派遣留学、奨学金など)。コースにアクセスのうえ、各種申請や提出をすることができます。

### ⑤ プロフィール

語学スコア、留学・海外学習歴の登録ができます。留学前後に積極的に語学試験を受験し、ご自身の成長を記録していきましょう。

### ⑥ 留学関連情報

**派遣留学プログラム** からは、「プログラムリスト」「協定校 info」「WEB出願」へのアクセスができます。  
**短期留学プログラム** からは「募集要項」「留学体験記・アンケート」「WEB出願」にアクセスができます。

### ⑦ マイコミュニティ

留学関連の情報取得や留学コーディネーターに相談ができるコミュニティがあります。

●「国際課からのお知らせ」(カテゴリ:お知らせ) ●「留学コーディネーターに聞いてみよう」(カテゴリ:その他)  
参加方法:「コミュニティをさがす」→「このコミュニティに参加」



# サマープログラム



[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/summer.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/summer.html)

## プログラムの特徴

夏期休暇中の約3~4週間  
団体(人数はプログラムによって異なる)での留学  
大学附属の語学学校等で学ぶ  
語学要件なし

## こんな人におすすめ!

海外生活を体験してみたい方  
部活動等で長期間の留学が難しい方  
集中して語学を学びたい方  
長期留学出願に向けて語学力を伸ばしたい方

## プログラム概要

- 海外における短期集中の語学学習を外国語教育の一環として行う研修制度で、大学の夏期休暇中に実施されます。
- 事前授業に加え、研修先での生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。
- 渡航前の春学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレACEMENTテスト結果等をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートが実施されることもあります。

## 科目登録・単位・成績評価

- 「全学共通教養教育科目」に該当し、科目登録は留学実施年度の春学期に行います。
- 修得可能単位数はプログラムによって異なり、2~4単位が修得可能です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価し、留学実施年度の秋学期末に通知されます(プログラムごとのシラバス参照)。

## 履修の制限

- 再修生(5年次生以上)で留学実施年度の春学期卒業見込みの学生は出願不可。再修生で出願を希望する場合、所属学部窓口または今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)に相談すること。
- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語で実施されるプログラムに、中国語コース生は中国語のプログラムに出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、英語で実施されるプログラムへは出願不可。ただし、初修外国語(母語を除く)で実施されるプログラムへは出願可能。

## 科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 査証申請手続きは、渡航先によっては旅行会社が代行できない場合があり、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも設置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

## 研修先

以下は2023年度実績です。2024年度のプログラム詳細は、国際課HPをご確認ください。

### 渡航

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
サマープログラム・英語A	ヨーク大学	イギリス	4	2023年8月12日~9月11日	約85万円	寮/ホームステイ	約24名	12名
	ディーキン大学	オーストラリア	4	2023年8月10日~9月18日	約75万円	ホームステイ	約20名	10名
	アリゾナ大学	アメリカ	4			休講		
	ゲルフ大学(※)	カナダ	4			休講		
	トンプソン・リバーズ大学	カナダ	4	2023年8月12日~9月4日	約83万円	ホームステイ	約30名	11名
サマープログラム・英語B	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	3	2023年8月11日~9月8日	約109万円	ホームステイ	約25名	10名
	コーク・カレッジ大学	アイルランド	3	2023年8月12日~9月11日	約85万円	ホームステイ	約15名	1名
	ケンブリッジ大学(※)	イギリス	2			休講		
サマープログラム・英語C	カリフォルニア大学サンディエゴ校	アメリカ	2	2023年8月12日~9月4日	約132万円	寮/ホームステイ	約20名	10名
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学	ドイツ	3	2023年8月12日~9月2日	約75万円	ホームステイ	約20名	1名
サマープログラム・フランス語	フランシュ=コンテ大学	フランス	4	2023年8月10日~9月11日	約90万円	ホームステイ/ホテル	約20名	4名
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学(※)	メキシコ	4			休講		
サマープログラム・ロシア語	ロシア国立サンクトペテルブルク経済大学(※)	ロシア	4			休講		
サマープログラム・ロシア語	延世大学	韓国	3	2023年8月28日~9月19日	約30万円	ホテル	約20名	7名

※ロシア語(ロシア国立サンクトペテルブルク大学)は隔年で実施しており、最終実施は2018年度です。  
 ※英語(ゲルフ大学、ケンブリッジ大学)、フランス語(ラス・アメリカス大学)は、2024年度から実施予定です。  
 ※英語(オークランド大学)は2024年度から新規開講予定です。

費用: 学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

## オンライン

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	募集人数	最少催行人数
サマープログラム・英語A	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	4	2023年8月14日~9月8日	約11万円	約30名	5名
サマープログラム・中国語	北京大学(※)	中国	4	2023年7月31日~8月25日	約16万円	約20名	1名

※中国語(北京大学)は、2024年度から渡航で実施予定です。オンラインのプログラムは2024年度以降無くなります。

## 研修先紹介(一例)



## カリフォルニア大学 デービス校



■都市: デービス  
 ■特徴: 州都サクラメントから西に18kmの場所に位置し、大都市へのアクセスの良いデービス市。カリフォルニア大学デービス校はアメリカ最高水準の高等教育を提供するカリフォルニア大学システムのうちの1校であり、U.S.News 誌の大学ランキングでも毎年全米上位にランキングされる。大学が提供する英語教育プログラムでは、英語力の向上のみならず、アメリカ文化、環境・社会問題、SDGsなど様々な分野のトピックを通じ、グローバル社会の一員として必要な知識を学ぶ。



## トンプソン・リバーズ大学



■都市: カムループス  
 ■特徴: プリティッシュ・コロンビア州の南中央部にある大学。近年国際交流を進め、約70カ国から1,700名の留学生が学び、グローバル大学としての地位を確立している。トンプソン・リバーズ大学附属語学学校より提供されるプログラムでは、一般英語およびビジネス英語をバランスよく学ぶことができる。またインドア・ロッククライミングやカヌー、近隣国立公園への日帰り旅行などのアクティビティが充実しているのも魅力の一つである。



## ケンブリッジ大学 セントキャサリンズコレッジ



■都市: ケンブリッジ  
 ■特徴: ケンブリッジ大学は31のカレッジをもつ最高峰の名門大学で、ロンドンから北へ車で1時間半程度走った大学都市ケンブリッジにある。本プログラムは、その内の1つ、セントキャサリンズコレッジで行われ、英語レッスンや週末旅行、歴史ある学生寮での生活、チューターと呼ばれる現地大学生との交流を通じ、イギリス伝統のカレッジ制における大学生活にどっぷり浸ることができる。



## マルティン・ルター大学



■都市: ハレ・ヴィッテンベルク  
 ■特徴: 純粋なドイツの姿が残された、自然豊かなヴィッテンベルクにある大学。ドイツ史の重要な舞台となった都市も近隣にあるため、ドイツ文化を多層的に体験できる。また、ドイツの主要都市を訪れたり、ヴィッテンベルクの散策など文化体験することもでき、ドイツ語での授業とアクティビティをバランス良く体験できることが特徴である。



## フランシュ=コンテ大学



■都市: ブザンソン  
 ■特徴: スイス国境に近いフランシュ=コンテ地方の首都ブザンソンにある大学。外国人のためのフランス語講座は長い歴史を持っている。その充実した内容には定評があり、日本政府外務省の外交官研修先として選ばれたこともある。会話を中心として、文法、作文、発音矯正など総合力を養成するフランス語集中講座。



## ラス・アメリカス大学



■都市: プエブラ  
 ■特徴: 首都メキシコシティから南東へ約120km離れた、標高2200mの高原に位置するプエブラ。先住民文化の遺跡やスペイン植民地時代の史跡などでよく知られている。メキシコ料理ワークショップやラテンダンス体験などのアクティビティも充実しており、特に現地の学生たちやホストファミリーとの交流は、生きた異文化体験の機会として語学力以上のものを与えてくれるだろう。



## 北京大学



■都市: 北京  
 ■特徴: モダンな建築と伝統的な路地、数多くの文化遺産が同居する都市、北京にある世界的に非常に有名な大学。世界中から積極的に留学生を受け入れており、中国語教育では定評のある伝統校。授業や課外活動、また中国の人々や他国・他地域からの留学生との交流を通じて、中国語を向上させ、中国についての理解を深める。

# スプリングプログラム



[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/spring.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/spring.html)

## プログラムの特徴

春期休暇中の約2~4週間  
 団体(人数はプログラムによって異なる)での留学  
 大学附属の語学学校等で学ぶ  
 語学要件なし

## こんな人におすすめ!

海外生活を体験してみたい方  
 部活動等で長期間の留学が難しい方  
 集中して語学を学びたい方  
 長期留学出願に向けて語学力を伸ばしたい方

## プログラム概要

- 海外における短期集中の語学学習を外国語教育の一環として行う研修制度で、大学の春期休暇中に実施されます。
- 事前授業に加え、研修先での生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。
- 渡航前の秋学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレシメントテスト結果等をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートが実施されることもあります。

## 科目登録・単位・成績評価

- 「全学共通教養教育科目」に該当し、科目登録は留学実施年度の秋学期に行います。
- 修得可能単位数はプログラムによって異なり、1~4単位が修得可能です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価し、留学実施翌年度の春学期末に通知されます(プログラムごとのシラバス参照)。

## 履修の制限

- 実施年度の3月に卒業予定の学生は出願不可。
- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語で実施されるプログラムへは出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、英語で実施されるプログラムへは出願不可。ただし、初修外国語(母語を除く)で実施されるプログラムへは出願可能。

## 科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 査証申請手続きは、渡航先によっては旅行会社が代行できない場合があります。学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも設置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

## 研修先

以下は2023年度実績です。2024年度のプログラム詳細は、6月頃(予定)に発表します。



科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少 催行人数
スプリングプログラム・英語A	ホーン・メルボルン英語学校	オーストラリア	4	2024年2月16日~3月17日	約62万円	ホームステイ	約25名	20名
	ヨーク大学	イギリス	4	2024年2月17日~3月20日	約75万円	ホームステイ	約24名	10名
スプリングプログラム・英語B	セント・メアリーズ大学(※)	カナダ	3	2024年2月24日~3月17日	約77万円	ホームステイ	約30名	15名
	オークランド大学	ニュージーランド	3	2024年2月10日~3月11日	約75万円	ホームステイ	約20名	12名
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	2	2024年2月19日~3月12日	約109万円	ホームステイ	約25名	10名
	オタゴ大学	ニュージーランド	2	2024年2月13日~3月17日	約68万円	ホームステイ	約25名	10名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学	ドイツ	3	2024年3月3日~3月29日	約72万円	寮	約20名	1名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	3	2024年2月21日~3月23日	約94万円	寮/ホームステイ	約20名	5名
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学(※)	中国	1			休講		
スプリングプログラム・スペイン語B	サラマンカ大学	スペイン	2	2024年2月22日~3月20日	約56万円	ホームステイ	約20名	10名
スプリングプログラム・ロシア語	慶熙大学	韓国	3	2024年3月4日~3月25日	約32万円	寮	約20名	1名

※英語B(セント・メアリーズ大学)は2024年度は休講。2025年度以降の実施は未定です。  
 ※中国語(華東師範大学)は、2024年度から実施予定です。費用:学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

## オンライン

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	募集人数	最少 催行人数
スプリングプログラム・英語A	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	4	2024年2月19日~3月15日	約13万円	約30名	5名

※オンラインのプログラムは2024年度以降無くなります。

## 研修先紹介(一例)



## カリフォルニア大学 アーバイン校



■都市:アーバイン  
 ■特徴:アーバインは、ロサンゼルス南に位置し、全米で最も安全な都市の一つとして知られる。カリフォルニア大学アーバイン校の英語教育は、CEAというアメリカの英語教育プログラム認定協会にも認められた高い水準で行われている。クラスは習熟度別で、同志社大学生のみによって編成され、リスニング、スピーキングに重点をおき、アメリカ文化に関するディスカッション等を通して実践的な英語の運用能力向上を図る。



## ホーン・メルボルン英語学校



■都市:メルボルン  
 ■特徴:オーストラリアで2番目に大きな都市、メルボルンの中心地区(メルボルンCBD)に所在する語学学校。メルボルン大学キャンパスにも隣接しており、オーストラリアでもトップレベルの水準を誇っている。大学進学を視野に入れてカリキュラムを組んでいるため、授業では環境やビジネスといったトピックを取り入れており、また4分野(リスニング・ライティング・スピーキング・リスニング)をバランス良く伸ばすことができる。キャンパス内には図書館や映画館、スポーツジムなどがあり利便性がよく、留学生生活をさらに充実したものにしてくれるだろう。



## オークランド大学



■都市:オークランド  
 ■特徴:近代的な街並みと豊かな自然が融合するオークランドに位置するオークランド大学は、1883年に創立されたニュージーランド最大規模の大学で、QS世界大学ランキング2024では100位以内にランクインするなど国際的評価も高い。キャンパス内にある附属語学学校では経験豊富な教師陣のもと、語学力向上と文化理解のプログラムが用意されており、教員資格を持つスタッフの常駐するスタディセンターなど授業以外のサポートも充実している。



## ヨーク大学



■都市:ヨーク  
 ■特徴:首都ロンドンから電車で2時間程の所にある歴史文化に溢れる街ヨーク。ヨーク大学は自然に囲まれた美しい大学として知られ、24時間開室の図書館やヘルスケアセンターの完備など、学生サポートが充実している。授業は同志社大学生のためにアレンジされた特別授業で、ヨークの文化や歴史などを主なテーマに、コミュニケーション能力の向上を図りながら英国の生活や文化に触れることで国際的な感覚を磨くことができる。



## フライブルク大学



■都市:フライブルク  
 ■特徴:ドイツの南部に位置し、「環境先進都市」として有名な街、フライブルクにある大学。フライブルク大学語学研修センターが行うプログラムでは、世界各国から集まった学生と一緒に、ドイツ語のコミュニケーションを訓練しつつ、ドイツ語文化、そしてヨーロッパ文化を深く学ぶことができる。また留学生へのサポートも手厚く、フライブルク市内観光ツアーやハイキング、美術館案内などのアクティビティが充実しているのも魅力の一つである。



## CAVILAM クレルモン・フェラン大学監修



■都市:ヴィシー  
 ■特徴:CAVILAMは1964年に設立され、フランスの高等教育機関や、企業などからもフランス語教育機関として認められている非常に有名な学校である。クレルモン・フェラン大学と提携関係にあり、緑豊かな大学キャンパスに、優れた研修設備を有している。学校の所在するヴィシーは温泉保養地としても有名な線に囲まれた小さな街で、落ち着いた雰囲気のためフランス語学習に集中するにはとても恵まれた良い環境である。



## 慶熙大学



■都市:ソウル  
 ■特徴:70年以上の歴史を持つ慶熙大学は、ソウル市の東大門区に位置する名門私立大学である。国際教育院韓国語教育部で実施される本プログラムは、世界各国からソウルに集まる学生と一緒に韓国を学ぶプログラムで、レベルに応じた少人数制の語学授業のみならず、K-POPやドラマ、習字や文化体験クラスなど韓国文化を満喫できる特色ある内容になっている。

# セメスタープログラム



[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/semester.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/semester.html)

## プログラムの特徴

秋学期(約4ヵ月間)実施  
 団体(人数はプログラムによって異なる)での留学  
 大学附属の語学学校で学ぶ  
**語学要件あり**

## こんな人におすすめ!

集中して語学力を伸ばしたい方  
 長期留学に興味があり、語学を集中して学びたい方

## プログラム概要

- 秋学期(約4ヵ月間)、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めることを目的としています。
- 渡航前の春学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレACEMENTテスト結果をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。研修先での学習と生活を通して語学力を向上させるとともに、豊かな国際感覚を養います。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートが実施されることもあります。
- **同志社大学へ学費の納入が必要です。**

## 出願要件・科目登録・単位・成績評価

- 出願時に、TOEFL ITP®テスト450以上、TOEFL iBT®テスト45以上、TOEFL iBT® Home Edition テスト45以上、IELTS™ overall band score 4.5以上のいずれかが必要です。(TOEFL iBT®テストは「Test Date スコア」のみ可。「My Best™ Scores」は認めない。)
- 「全学共通教養教育科目」に該当し、修得可能単位は、「セメスタープログラム・英語Ⅰ」「セメスタープログラム・英語Ⅱ」の計8単位です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 秋学期の履修登録科目は、上記科目のみとなり、他の科目の履修登録はできません。詳細は、所属学部窓口または今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価されます(プログラムごとのシラバス参照)。

## 履修の制限

- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語が英語の場合は出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は出願不可。

## 科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、研修中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 査証申請手続きは、渡航先によっては旅行会社が代行できない場合があり、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも設置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

**研修先** 以下は2023年度実績です。2024年度のプログラム詳細は、国際課HPをご確認ください。

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
セメスタープログラム・英語Ⅰ、Ⅱ	ウィニペグ大学	カナダ	8	2023年 9月2日～12月19日	約170万円	ホームステイ	約30名	10名
	ディーキン大学	オーストラリア	8	2023年8月12日～12月11日	約180万円	ホームステイ	約30名	10名
	ハワイ大学マノア校	アメリカ	8	2023年8月19日～12月19日	約208万円	寮/ホームステイ	約30名	7名

※セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、ⅡはP.24のEUキャンパスプログラムのドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラムをご確認ください。 費用：学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

※TOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

## 研修先紹介

### ウィニペグ大学



■都市：ウィニペグ

■特徴：1871年創立のウィニペグ大学は、将来のキャリア開発を念頭にリベラルアーツ教育を掲げ、少人数のクラスサイズで手厚い指導が特徴の大学。また学部教育にも定評がある中規模大学で、留学生に対する英語教育プログラムは30年以上の歴史があり、世界中から意識の高い留学生が集まる。ウィニペグという街は、比較的日本人が少ないながらも、他都市以上に住む人々がフレンドリーで話しやすい環境であるため、落ち着いた環境で集中して、英語力を伸ばしたい方にお勧めなプログラムである。

### ディーキン大学



■都市：メルボルン

■特徴：ディーキン大学はヨーロッパ文化をもつ美しい街並みと近代的な建造物とが見事に融合し、非常に住みやすいビクトリア州メルボルンにキャンパスを構えている。大学では現地の学生だけでなく、世界各国の留学生が学んでいるため、様々な国籍の人と交流できる機会も多い。また授業のレベルは初級から上級まで細かく分かれ、学生それぞれの目的に応じた英語力が身につくよう工夫されており、カリキュラムに沿った課外授業を多く取り入れているのも魅力の一つである。

### ハワイ大学 マノア校



■都市：ホノルル

■特徴：太平洋に浮かぶハワイ諸島の中心地であるオアフ島は、美しい自然に恵まれ、気候は温暖で一年中過ごしやすい。ハワイ大学マノア校は、オアフ島南部のホノルル市に所在し、生活にとっても便利。ハワイ大学進学を目指す留学生を対象とするプログラムを他国からの学生に混じって英語を集中的に学び、授業の他にも特別講義、フィールド・トリップ、ボランティアなどの課外活動があり、英語力を伸ばす可能性は広がる。

# EUキャンパスプログラム



[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/eucampusprogram/eucampusprogram.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram.html)

## プログラムの特徴

- 春学期または秋学期(約5ヵ月間)実施
- 団体での留学
- EUキャンパスで学ぶ
- 現地に同志社大学のスタッフが駐在
- 語学要件あり
- GPA 要件あり(秋学期プログラムのみ)

## こんな人におすすめ!

- 集中してドイツ語を伸ばしたい方(春学期)
- 英語でEUについて学びたい方(秋学期)
- チュービンゲン大学の授業を受講したい方
- チュービンゲン大学の学生と交流したい方
- 長期留学に興味がある方

[春学期]

## ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

ドイツ語とEUを学ぶ

### プログラム概要

- ドイツのチュービンゲン大学にある本学の海外キャンパスであるEUキャンパスで春学期(約5ヵ月間)に実施するプログラムです。ドイツ語の研修プログラムである「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」に加えて、チュービンゲン大学日本学科の学生との共修科目である「Intercultural Studies」、ドイツ、ヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とした「EUキャンパス特別講義」でプログラムを構成しています。
- 渡航前の秋学期に研修先の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレイズメントテスト結果等をもとに、能力に適したレベルのコースにクラス分けされ、研修を受講します。研修先での学習と生活を通して語学力を向上させるとともに、豊かな国際感覚を養います。
- 同志社大学へ学費の納入が必要です。
- チュービンゲン大学の学費は免除されます。

### 出願要件・科目登録・単位・成績評価

- 出願にあたり、外部語学能力試験の証明書の提出は不要ですが、ドイツ語入門Ⅰ・Ⅱ、応用1、2、3、4、インテンシヴⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのいずれかが履修済(登録中も可)であること。  
なお、本学の初修外国語としてドイツ語を選択していないドイツ語既修者の場合も出願は可能です。プログラム開始後、チュービンゲン大学で実施されるドイツ語の集中講義でCEFRのA2レベル以上に達する必要があります。
- 「全学共通教養教育科目」として設置している「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ(計8単位)」、「Intercultural Studies(2単位)」、「EUキャンパス特別講義①、③(計4単位)」の4科目で構成されます。単位の取扱については、所属学部窓口にご確認ください。
- 春学期の履修登録科目は、上記科目のみとなり、他の科目の履修登録はできません。詳細は、所属学部窓口または今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修の評価等を総合して評価されます。

プログラム内容 以下は、2024年度の実施予定内容です。(内容は変更になる可能性があります。)

科目名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	8	2024年2月29日～8月9日	約95万円	寮	約15名	10名
Intercultural Studies	2					
EUキャンパス特別講義①、③	4					

費用：住居費・往復航空券・保険料等を含む

### 履修の制限

- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語がドイツ語の場合は出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、母語がドイツ語の場合は出願不可。

### 科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備えて、本学指定の海外旅行保険およびドイツの医療保険への加入が義務付けられています。ドイツの医療保険への加入、大学寮への申請手続きは、大学の指示に従い学生自身で行います。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載するほか、国際課・教務センター等にも設置予定です。
- 参加者は事前授業への出席と出発前に行われる危機管理オリエンテーション等、国際課が指定する説明会への参加が求められます。

- 2025年度ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラムから、出願要件やプログラム内容の一部を変更します。詳細は、下記および2024年4月以降に国際課のHPで必ず最新情報を確認するようにしてください。

[秋学期]

## ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム

英語でEUを学ぶ

### プログラム概要

- EUキャンパスで秋学期(約5ヵ月間)に実施するプログラムです。チュービンゲン大学が提供するTübingen International and European Studies(T-IES)科目(すべて英語)と本学が提供する科目(英語または日本語)で構成しており、プログラムを通してドイツ、ヨーロッパへの理解を深めることを目的としています。
- 同志社大学へ学費の納入が必要です。
- チュービンゲン大学の学費は免除されます。

### 出願要件・科目登録・単位・成績評価

- 英語のCEFR B1～B2レベルを目安とします。(2025年度プログラムから出願可能な英語試験の種類が変更されます。)
- チュービンゲン大学が提供するT-IES科目は単位認定科目、本学が提供する科目は履修登録科目となります。
- チュービンゲン大学が提供するT-IES科目は6科目すべて履修する必要があり、最大12単位が認定されます。本学が提供する科目は全科目(4科目8単位)登録が必須です。科目登録・単位の扱い等の詳細は、所属学部窓口にご確認ください。
- 出願の最低要件として、少なくともGPA2.0以上が必要です。
- 候補者決定後、留学開始までに英語力向上を目的として留学前準備講座の受講や英語試験の受験が求められます。

プログラム内容 以下は、2025年度の実施予定内容です(内容は変更になる可能性があります)。

科目名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
チュービンゲン大学提供T-IES科目	12	2025年9月1日～2026年1月下旬(最長)	約55万円 ※往復航空券を含まない	寮	約15名	10名
同志社大学提供科目	8					

費用：住居費・ドイツの医療保険料・留学前準備講座費用等を含む

### 科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- チュービンゲン大学への入学手続き・科目登録、ドイツの医療保険への加入、大学寮への申請手続きは、大学の指示に従い学生自身で行います。
- 航空券の手配、本学指定の海外旅行保険への加入手続きは、大学からの案内後、各自の責任で行う必要があります(留学中のけがや病気、盗難に備えて、本学指定の海外旅行保険およびドイツの医療保険への加入が義務付けられています)。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載するほか、出願受付前の募集説明会にて設置予定です。また、参加者は留学前準備講座、出発前危機管理オリエンテーション等、国際課が指定する説明会への参加が求められます。

### 研修先紹介



## チュービンゲン大学



ドイツ

■都市：チュービンゲン

■特徴：本学は2017年度にドイツのチュービンゲン大学にEUキャンパスを開校し、2019年度から初の教学プログラムとして、EUキャンパスプログラムをスタートした。チュービンゲン大学は1477年に設立され、同志社創立者の新島襄もこの大学の水準の高さを認識していた。町の各所に大学の施設が点在し、大学と町が共存した学問の地として世界的に知られている。

### その他プログラム紹介

- その他、チュービンゲン大学を研修先とする科目として、海外フィールドワーク科目を設置しています。詳細は以下URLを参照してください。  
<https://www.doshisha.ac.jp/international/fieldwork/index.html>



# 派遣留学(大学間協定)プログラム



[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/exchange\\_program/exchange\\_program.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/exchange_program/exchange_program.html)

## プログラムの特徴

- 学生交換協定に基づいた留学
- 外国語で専門科目を学ぶ
- 渡航先は協定校の中から選択
- 期間は1セメスターまたは1年間
- GPA・語学要件あり**

## こんな人におすすめ!

- 海外大学の授業を受講したい方
- 現地の学生と一緒に授業を受けたい方
- 同志社で学んでいる専攻を外国語で学びたい方
- 1セメスターより長い留学をしたい方
- GPA・語学要件を満たしている方

## プログラム概要

- 本学は、37カ国(地域)176大学(2024年3月現在)と学生交換協定を締結しています。本プログラムは、外国協定大学派遣留学生制度のもと、これらの協定校に1セメスター/1年間留学するプログラムです。留学先大学では、原則として現地の学生と同様に学部レベル(大学院生は大学院レベル)の専門分野を勉強するため、出願時点で一定レベルの語学力が求められます。
- 派遣留学生は留学期間中も本学に在学し、留学期間は卒業に必要な修業年限に算入されます。また、留学中に修得した単位の認定を申請することもでき、留学先大学の学費は免除されます(【学費負担型】・ブリッジプログラムを除く)。

実施期間	1セメスターまたは1年間	
募集日程/対象大学	P.8~P.9(対象大学)、P.12~P.13(スケジュール)参照 選考スケジュールの詳細は、国際課HPに掲載の募集要項をご確認ください。	
	A日程	留学期間が翌年2~3月に開始する大学(オセアニア・南米・韓国等)
	B日程	留学期間が翌年8~11月に開始する大学(北中米・ヨーロッパ・アジア等)
協定校	協定校 info 参照 "Go Global" ポートフォリオ) 派遣留学プログラム) 協定校 info	
募集大学/出願要件	プログラムリスト参照 "Go Global" ポートフォリオ) 派遣留学プログラム) プログラムリスト	
費用	[1年間の場合] 約150~350万円(住居費・生活費・往復渡航費等、学費以外の費用) ● 同志社大学への学費の納入が必要です。 ● 留学先大学の学費は免除されます(【学費負担型】・ブリッジプログラムを除く)。	



## 出願要件・履修計画

- 留学先大学ごとに、GPA(同志社大学での累積の学業成績)、語学能力をはじめ、出願の条件が定められています。学内出願の最低条件として、少なくとも GPA2.0以上、英語での出願の場合、TOEFL ITP® 500点以上、TOEFL iBT® 60以上、IELTS™ 5.5以上のいずれか、英語以外の言語で出願する場合、CEFR A2以上が必要です。
- 留学先大学によっては、学年・取得済単位数等の条件が設けられている場合もあります。詳細は、プログラムリストを参照してください。出願資格・要件は、学内出願の時点で満たしていることが必要です。プログラムリストの公開は募集時期の直前となるため過去の情報を参考に準備を進めてください。なお、出願前に必ず最新のプログラムリストを確認してください。
- 候補者に選出されても、出願資格・要件が満たされなくなった場合、留学先大学より入学許可が得られなくなる可能性があります。
- 下記を総合的に評価の上、最終的に学長が派遣留学候補者を決定します。  
・累積 GPA(学業成績) ・語学能力 ・所属学部・研究科による面接
- 留学中の目標、志望理由、留学前・留学後の履修計画、進路(就職活動)等は、出願前に十分ご検討ください。派遣留学生が履修可能な科目、履修の制限等の情報は、協定校 info をご参照ください。

GPA	語学	面接
[学部生] 2.00 / 4.00	[英語] TOEFL ITP® 500 または TOEFL iBT® 60 IELTS™ 5.5	60 / 100
[大学院生] 2.50 / 4.50	[英語以外] CEFR A2	

※TOEFL® はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

## 派遣留学スケジュール



## 出願を考えている方へ

- ・派遣留学募集説明会で配布される「同志社大学 外国協定大学派遣留学生制度募集要項」を必ずご確認ください。
- ・募集開始前に行われる募集説明会に参加し、情報収集に励んでください。
- ・候補者に選出された場合、「候補者説明会」や「出発前危機管理オリエンテーション」(いずれも対面実施)等、本学が指定する説明会やオリエンテーション等へ必ず参加してください(欠席は不可)。
- ・候補者に選出されても、学業不振等により留学が取り消される場合や、留学先大学から入学許可が得られない場合は、留学できません。

## その他注意事項

### 出願について

- ・派遣留学出願にあたっては、WEB出願と書類出願の両方が出願期間内に必要です。
- ・学内語学能力試験/国際センター面接は対象者のみ受験が必要です。英語以外の言語での出願の場合、出願前に学内語学能力試験の受験が必要な語学があります。
- ・詳細は同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項をご確認ください。
- ・所属学部・研究科面接は出願者全員が対象です(所属学部・研究科から対象者に面接案内がきます)。
- ・候補者発表は「Go Global」ポータルサイトに通知します。
- ・学内出願後に留学期間の延長・短縮・キャンセルはできません。

### 本出願について

- ・学内選考の結果発表の段階では、あくまで「派遣留学候補者」です。候補者発表後、留学先大学への正式な出願(「本出願」)を経て、留学先大学より「入学許可」を得ることで、派遣留学生として認められます。

### 出発までの必要手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)

- ・航空券の手配、ビザの取得、海外旅行保険への加入、寮の申請等、入学許可後の手続きは、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- ・留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。

【最低限カバーすべき補償内容】 治療・救援費用:無制限、個人賠償責任:1億円

### 派遣留学生の義務・責任

- ・本プログラム(制度)で留学する派遣留学生は、本学の代表として留学するため、様々な恩恵が得られる一方、義務や責任も生じます。海外旅行保険への加入をはじめ、定期的に安全を確認する安否確認メールへの応答、留学報告書(後輩学生への貴重な情報提供)の作成、帰国後の語学スコア(学外の語学能力試験のスコア)の提出は必須です。また、各種留学説明会への協力等、本学の派遣留学・国際交流の活性化への積極的な協力が求められます。

### 帰国前・帰国後の科目登録・単位認定

- ・派遣留学はプログラムへの参加だけでは単位になりません。留学先大学で修得した単位は、所属学部・研究科へ単位認定を申請する必要があり、留学中の修得単位がすべて認定されるとは限りません。帰国後の単位認定を見据えて、留学前に留学先大学のカリキュラムを調べ、履修予定科目を決定の上、所属学部・研究科窓口にご相談することが推奨されます。

### 継続履修

- ・本学では、一部の科目で春学期・秋学期の通年科目や、学期をまたぐ中科目が設置されています。8月~10月に新学期が始まる大学に留学する場合、継続履修制度の適用を受けることで、留学前に春学期分を履修し、帰国後に秋学期分を履修することが認められる場合があります。継続履修の取扱いについては、所属学部・研究科窓口にご確認ください。

サマープログラム・英語B

## コーク・カレッジ大学

## 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

一番苦労したのは、クラスのレベルの高さとクラスメイトや先生の英語を聞き取ることです。クラスはCEFRレベルで分けられますが、ヨーロッパから来ている他の学生はスピーキング力とリスニング力が極めて高いので、会話するのに苦労しました。最初は全く聞き取れないことで緊張し、萎縮してしまひ自分話せなくなるという悪循環に陥っていました。しかし、親近感のあるアジアから来た学生とコミュニケーションを取ることから始め、だんだんとクラス全員と話すという様に慣らすという方法を取りました。すると、リラックスして話せるようになりました。また、できる限り日本人とは話さないように意識しました。話す際も日本語ではなく、英語で会話をしました。それは、逆の立場に立った時に留学生集団が母国語で話していたら、声をかけづらいと思われるからです。以上のことで多くの海外の学生と仲良くなることができました。

## 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

語学力においては、世界中から来た留学生の友達と日常会話を英語でスムーズにできるようになったと思います。特にリスニング力は大きく成長したと感じます。多少の訛りや発音の違いがあっても問題なく聞き取ることができました。精神面では、他者の目を恐れずにコミュニケーションをとることができる積極性を身につけることができたと感じました。日本にいた時は、自分より英語ができる人には抵抗がありました。しかし、多少英語が流暢でなくとも、様々な手法で会話をしようとすることで受け入れてもらえた上、仲良くしてくれる友人がいたからこそ、自信にもつながり、失敗を恐れずにコミュニケーションを取ろうという姿勢を身につけられたと思います。

## 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか (就職 / 大学院進学等)

留学で成長できた積極性やコミュニケーション力は、就職活動や就職先での初対面の人との関係構築に活かせると感じました。海外の学生のフレンドリーさは見習う部分が多くあると思います。そして、アイルランドでは、文化や歴史などを博物館や史跡で多く学ぶ中で、新たな視点や考え方、発見を得ることができたので、それを踏まえて卒業論文に取り組んでいきたいと考えています。最後に、海外で1ヶ月生活する中で一人で遠出をしたり、友人を作ったりという経験が自信になったので、もし将来海外への出張や転勤などのチャンスがあれば、積極的に挑戦しようと思うことができました。

## 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は、海外留学どころか海外旅行もほとんど行ったことがありませんでした。1ヶ月も海外で生活するということは怖さもあり、想像しづらいものでした。しかし、実際に留学してみると、日本では得ることができない価値観や人に出会うことができました。また、自分としても1ヶ月英語圏で問題なく生活し、満足して帰ることができたという経験は大きな自信につながりました。参加を語学や未経験という理由で迷われているなら、ぜひ挑戦の方がいいと思います。上記にも書いた通り、コミュニケーションは積極的なマインドと英語を使う意思で問題なく行えると思います。参加される方は、ぜひ海外の学生と積極的にコミュニケーションをしてほしいと思います。留学先で様々な国の友人を作ることができたのは貴重な経験でした。また、海外生活の中で自分自身の発見を日記などにメモしておくこと更に収穫が多くなると感じました。

サマープログラム・フランス語

## フランシュ=コンテ大学

## 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が一番苦労したのは、ホームステイをはじめてすぐの頃、ホストファミリーとの意思疎通が円滑に取れなかったことです。私は、事前に日本でリスニングに重点を置いてフランス語を勉強しておらず、簡単なフレーズでも聞き取れずに理解に困る場面がありました。率直に言えば、この状況を改善した最大の要因は時間の流れです。数日が経てばホームステイ先での生活のリズムにも慣れ、日常会話での定番フレーズも覚えてきます。しかしながら、リスニング能力不足を補うために私が積極的に取り組んだことを挙げるとすれば、それは分からない時はしっかり分からないと言葉にすることです。そうすることでホストファミリーや学校の先生はさらにゆっくりと話してくれるし、分からないことがきちんと伝われば多くの人は私が理解できるまで忍耐強く説明してくれました。

## 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

語学力に関しては、フランス語のシャワーを1か月浴びたことによってフランス語特有のリズムが身に付ききました。聞き取りやすさが飛躍的に向上し、同じ文章でもイントネーションが矯正されて伝わりやすくなったと感じています。日本ではリスニングとスピーキングをここまで格段に鍛えることは難しいので、短期間でも実際にフランスに身を置いたことは語学面に効果をもたらしたと思います。また、単刀直入に言えば私はフランスが日本よりも不便な国であると感じました。機械や設備の故障は珍しくありませんし、規則や予定の通りに進まないことも多いのですが、そのような生活を送ることができたのも貴重な経験であり、日本の社会を対照的に見つめられる良い機会になりました。結果、その副産物として私はより優れた交渉力を手にすることができました。挨拶とお礼を忘れずにお問い合わせすればいつも周りの人が手を差し伸べてくれて、人間の温かみを随所に感じました。

## 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか (就職 / 大学院進学等)

私は卒業後のキャリアにおいてフランス語を使う予定は今のところありません。それでもこのサマープログラムでの経験は私のフランス語学習の大きなモチベーションとなったので、今後も学習は継続していきたいと考えています。また、特にホームステイの環境下では語学面の成長だけでなくフランス人の生き方や暮らし方を肌で感じて学んだことも多くあり、私の価値観や生活観に影響を及ぼしたように思います。

## 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

このプログラムに参加して出会った現地の学生、ホストファミリー、そして同志社の仲間は何ものにも代え難い大切な存在になりました。大学生の貴重な休暇期間には様々な過ごし方があると思いますが、私はフランスへ渡って今までで最も濃密で思い出深い夏休みを過ごすことができました。日本では、フランス語は英語より馴染みがなく語学面や生活面に不安を感じる方もおられるかもしれませんが、世界的に名高い語学研修機関でのレベル別授業と優しくフレンドリーで経験豊富な先生たちに加えて、ツアー会社の方や担当の先生からの手厚いサポートも受けられます。同行した仲間の中には今回初めて海外への渡航を経験した者もいました。学生や関係各位と連絡を取り合って無事に日々を過ごすことができました。総じて、私自身はこのサマープログラムへの参加を決断したことを誇りに思っています。皆さんもぜひプザンソンで素敵な夏の思い出を作ってきてください!

アイルランド



フランス



スプリングプログラム・英語C

## カリフォルニア大学アーバイン校

## 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に最も苦労した点は英語を話せないと思い込んでいる自分を捨てることだ。英語で話す上で相手にうまく伝わらなかつたらどうしようと考えて、到着してしばらくは自分から話すことをあまりしなかつた。しかし、このままでは英語を話せないまま帰ることになってしまうと思い、自分を変えようと思い立った。具体的に乗り越えた方法として、完璧主義を捨てて自分のできることから積極的に実行していくことだ。すぐに表現が思い浮かばなければ、ジェスチャーを大袈裟にしてみることも単語だけでも伝えてみることも、相手の意見を理解することができれば素直にその旨を伝えること。そして、先生やカンパセーションパートナーだけでなくお店の従業員やUberの運転手にも積極的に話しかけた。ときには上手く会話できなかった時もあったが、Uberの運転手と日本文化の話で盛り上がることもできたときは、弱い自分を乗り越えてよかったなと感じた。

## 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

今回の留学で自分が成長したと思う点は2点ある。1点目はリスニング力だ。着いた頃には先生の話を聞くことで精一杯であったが、授業を通してホストファミリーとの会話を経て成長したと思う。具体的にディズニーランドに行ったときにトラブルでアトラクションが止まった際のアナウンスを聞き取れたときに成長を感じた。早口で昔の自分では聞き取れていなかったと思う。2点目は感謝の心を持つことだ。私が留学に行くにあたり、多くの人の協力があり成り立っていると期間を通して感じた。資金を援助してくれた日本の親や現地で暖かく迎え入れてくれたホストファミリー、国際課やITBの職員および現地でのサポーターなどといったように、学生の成長のために多くの大人がいる。ホストマザーが私に教えてくれた隣人愛を次は他者に行えるような人間になりたいと心から思った。

## 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか (就職 / 大学院進学等)

今後、さらに語学力の向上を目指し日本から世界に通ずることができる人間になりたいと思う。そのために考えることは2点ある。1点目は、海外にも広く展開を行う会社への内定が決まっており、そこで誰よりも活躍できる人間になることだ。語学力はもちろんのこと、様々な人と出会い共有した価値観は何よりも価値があると私は思う。1人で仕事することができない以上、いろいろな人の気持ちを理解した上でコミュニケーションを取れる人間になれるきっかけになったと感じている。2点目は、これからの人生で様々な場所を訪れたいという目標ができたことだ。昔から憧れを持っていたアメリカに行き、休日には自分でプランを立てて現地で様々な場所を訪れた。設問1で述べた通り様々な経験をしたが、他の国や場所にも赴き更なる経験をしたいと思うようになった。そのために仕事を頑張ることや語学力の向上といった次の生きる目標ができた。

## 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

まずは勇気を持って飛び込んでみるのが大事だと思う。「やらずに後悔するよりやって後悔すべきだ」という言葉があるように、プログラムに参加することで得られるものは何にも代え難いといえる。私は3年生で、1・2年生に混ざって活動をしっかりとできるのだろうかといった悩みがあったが、そんな憂いは全くもって感じなかつた。むしろ、いろいろな仲間に出会えてよかったと思うくらいである。胸に抱え込んだ迷いがプラスの力に変わると私は思っているので、まずは説明会に参加して、親御さんとしっかりと相談した上でぜひ挑戦してほしいと思う。あえて懸念点を述べると、同志社専用プログラムのため日本人のみのクラスであること、現地では自分達と同じような日本人の短期語学留学者が集まるフロアで授業があるため、自分から英語を話そうと挑戦しなければ全く英語力が伸びない点だ。ただ、この懸念点は気持ちですぐ変わるもので、あまり関係ないともいえる。

スプリングプログラム・ドイツ語

## フライブルク大学

## 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

苦労した点は自分の全ての生活面のことを異国の地で行うということでした。元々ドイツに3年半住んでいたため、まだ慣れているかなと思いきや留学先にドイツを選びましたが、1人で生活するのは思ったよりも忙しく、大変でした。朝早く起きて、学校に行く準備をし、夕方ごろに学校が終わり、そこから買い出しに行き、夜ご飯を作り、洗濯物をして風呂に入って課題をして寝るという1日のルーティーンで本当にあっという間に時間が過ぎていきました。その中でもやはり、同じ留学仲間であったり、同志社大学から一緒に行った人たちは心の支えでした。みんな協力しながら自炊したり、楽しく過ごしたおかげでホームシックにもならず、とても楽しく過ごすことができました。

## 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

私が語学面で成長したと思う点はドイツ語はやはり日常生活での買い物や電車、トラムなどで聞くのでリスニング力が最も上達したように感じます。さらに知っている単語をうまく使って伝えようとする力も身につきました。特に私が今回行ったフライブルクという街は学生が多く、街の人も優しいのでコミュニケーションを積極的に取るようにしてくれるため、勇気を出して話そうと思ったり、1人で買い物に行く怖さもなくなりました。

## 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか (就職 / 大学院進学等)

私は幼少期の頃から変わらず客室乗務員になる夢を追いかけているため、今回留学に行った理由も夢に近づいたためでした。そして私が思っていた通り、留学前と比べて語学だけでなく他の国々に対する興味も深まり、より一層夢を叶える気持ちが強くなりました。今からできることとして、もう少し先の就職活動に向けて語学の資格の勉強を中心に頑張っていきたいと思っています。

## 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

留学に行きたい、興味があるという声はよく耳にしますが、実際に行動に移す人は少ないように感じます。今回の留学中にも何度も意識したことですが、「まず行動」を私は1番に考えるようにしています。少しでも興味の湧いたことは積極的に参加する、行動に移すということです。こう考えることにより、消極的になりそうになった時も今ある時間を有効活用しようと思うことができます。実際に海外で1人で生活できるようになると色々なことに自信を持てるようになるのでおすすめです!

アメリカ



ドイツ



セメスタープログラム・英語 I・II

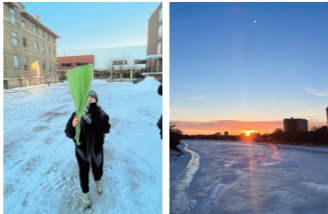
カナダ



## ウィニペグ大学

### 1. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

この3カ月は、カナダの平等さを身をもって体感する貴重な期間になりました。人口のほとんどがアジア系の顔な日本とは違い、カナダは様々な人種が入り乱れているのが当たり前の社会です。そのため、私のようなアジア系の顔を見かけても、“外国人”ではなく、彼らと同じ“カナダに住む人間”として接してきます。私は今までの留学では、見た目でも“英語が話せない”と認識されるのが当たり前であったため、このカナダの平等さをとても居心地がよいと感じました。私はこの経験を活かし、改めて自分が無意識に抱いていた偏見や差別意識と真剣に向き合うとともに、この3カ月で学んだカナダの平等を世界中に広めていきたいと考えています。



### 2. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

いろいろな人から何回も聞いたありきたりな言葉ではありますが、カナダという国を一言で表すと、ただただ「良い国」です。治安が比較的良かったり物価が安定していたりという留学のしやすさの側面もそうですが、人々の温かさや平等さ、自然、街並み、考え方、食べ物、ライフスタイルなど、良いところを上げればキリがありません。私はこの3カ月のカナダ留学を通じ英語力が向上ただけでなく、かけがえのない第二の家族・故郷ができた、自分自身を見直すきっかけが来たり、世界中にたくさんの方と交流ができた、異文化交流で知見を深めたりと、プログラムに参加したときには想像もできなかった多くの財産を手に入れることができました。そして私は、将来カナダで就職し、カナダで暮らしたいという新しい夢が見つかりました。私は、これらの経験から、留学先にカナダを選ぶことを強くお勧めします。きっと、価値観が変わるような発見や将来に必ず役立つ経験が得られると思います。



セメスタープログラム・英語 I・II

オーストラリア



## ディーキン大学

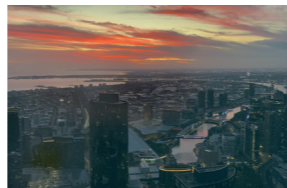
### 1. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

私は3回生の秋セメスターに留学に行きました。そのため、現在(現地でもある程度行っていました)は就活を行っています。留学で培った英語力を活かしたいので、「語学力が求められる職、グローバルに事業を展開している企業」を企業選びの軸の1つにしています。ところで、現在私が行っているアルバイト先には立地柄外国人客が多く訪れます。その対応を英語で行うなど、オーストラリアで培った英語力が実際に役に立ちます。また、ただ対応するだけでなく、「どこから来たの?何したの?」といった会話もするので、接客がオーストラリア風になったかなと思うたりしています(笑)。



### 2. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は素敵なホストファミリー、ハウスマイト、学校でできた友達と忘れられない4か月間を過ごすことができました。また、ディーキンメルボルンのシティより東へ電車で一時間弱で、田舎すぎずも落ち着いた居心地が良い場所です。ただ、8月という日本の夏休み期間からの研修なので、学校には正直日本人が沢山いました。その状況でも、大学附属の語学学校という利点を活かしてクラブに参加するなど、行動次第で英語を伸ばすことができます。更に、3回生での留学は就活がネックだと感じる人もいらっしゃるかもしれません。これに関しては、授業内容(3種類授業があり、課題の量など大きく異なる)を自分で選択できるので、そのタイミングで自身に合ったコースを選ぶと良いでしょう。ところで、日本と季節が真逆な点もとても面白いです。是非本プログラムに参加し、サマークリスマス(クリスマス前の帰国だと思いがち)を感じながら素晴らしい思い出を作ませんか?



セメスタープログラム・英語 I・II

アメリカ



## ハワイ大学 マノア校

### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

今回の留学で苦労した点はネイティブスピーカーとの会話です。彼らにとって英語は母国語なので私たちが日本語を話すようにスラスラと話します。一方でこちらは母語話者ではないため、早い速度やスラングで会話が進んでいくと聞き取りや理解が難しくなることがありました。しかし、わからなかった場合は素直に訊ねること、また、回数を重ねることでスラングの意味や表現を吸収し、より自然な英語を話すことができるようになりました。



### 2. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

今回のセメスタープログラムで多くの人と関わり、またハワイのゆったりとした空間の中で多くのことを学ぶことができました。HELPプログラムは全員ではありませんがほとんどの生徒が日本人です。ですので積極性を持って英語を話さなければ正直意味がありません。授業外でも更に語学力を高めたい方はハワイ大学の生徒が主催するサークルが多くあるのでそれに参加することをお勧めします。また、HELPプログラムは一般のハワイ大学生とは少しカテゴリが異なり、料金を支払わなければ使用できない設備もあります。寮生活は自分の規範に沿って生活することができ、また大学からも近いので、自由な時間がホームステイの生徒よりも多くあると思います。しかし、寮付近はホームレスも多くいるため少し危険です。寮とホームステイのどちらを選択するかはしっかりと考えることをお勧めします。



カナダ



ドイツ語・異文化理解 EU キャンパスプログラム

ドイツ



## チュービンゲン大学

### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が留学中に苦労した点は、現地の授業に慣れることです。ドイツで受けた授業形態は今まで私を受けてきた日本のものとは大きく異なり、最初はとても戸惑いました。特に、ドイツ語の授業では、グループでコミュニケーションをとり、軽いディスカッションが行われるので、文法の勉強や単語の暗記だけでは足りず、最適な勉強方法を見つけることに苦労しました。最初は、慣れない授業形態と自信のなさから、私は、授業の参加に消極的でした。しかし、幸運なことに、授業内であまり発言しない私を促してくれた先生が、私に度々話を振って下さったおかげで、このまま黙ってばかりではだめだと思ふようになり、徐々にグループ内で発言する機会が増えるようになりました。先生のサポートやのびのびと発言できる環境に囲まれたおかげで、ドイツ語の授業を楽しめることができたのだと思います。



### 2. このプログラムを通して成長したと感じたこと

私は、外国の人とのコミュニケーションをとる能力が少し伸びたと思います。はじめは、英語もドイツ語も話せないで、コミュニケーションを取ることができず、現地の人や日本人以外の留学生と話すことを敬遠していました。実際に、私にとって、日本語以外でコミュニケーションをとる際は、ほとんど上手に伝わらなかったため、とても体力を使いました。しかし、いろいろな人と母国語以外で話していくうちに、100パーセント伝わらなくても、そして、完璧な文法で話さなくても大丈夫なんだと感じるようになり、外国の人と話すときにあった恐怖感がなくなりました。最終的には、タンDEMパートナーの人と出かけたこと、ドイツ語の授業で同じクラスになった人たちとも楽しく話せることができるようになりました。



### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

今回の留学で得た経験は、日本の典型的な「新卒一括採用」という雇用制度の型にはまる必要はないということです。ドイツで出会った人たちは、年齢に関係なく興味のある分野を熱心に取り組んでいました。自身の将来について詳細はまだ決まっていますが、年齢を理由に諦めるのではなく、様々なことに挑戦し、学び続ける姿勢を忘れずにこれから生活したいと思っています。

### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

私は、初海外と一人暮らしで、留学生活を送るのがとても不安でした。加えて、内向的な性格であることから、一番留学に適していない性格だと自認しています。そんな私が留学をしたと思ったきっかけは、多様な人と交流して、視野を広げ、自分自身を変えたいと思ったからです。日本で海外の人と交流できたら、留学する必要はないのではないかと直前まで思っていたが、実際に5カ月の留学を経て、現地ならではの新しい発見や出会いがたくさんあり、本当に行ってきたと思えました。このように思えるのも、本プログラムの手厚いサポートのおかげです。このプログラムでは、現地の方が、日常生活に関する不安など相談に乗ってくださったり、日本学科の方と交流する機会がたくさん設けられています。よって、自ら積極的に人と交流するのが苦手だったり、海外で一人生活することに不安を感じている方は、本プログラムに参加することをお勧めします。

ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム

### 1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

苦労した事はたくさんありますが、留学中に私が最も苦労したのは、色んな国から来た人々と生活です。日本にいたと日本の常識や暗黙の了解を知らず知らずのうちに身につけています。しかし留学中はその常識が通用しません。例えば、人のものは勝手に食べない、自分が食べた食器は自分で片付けるなど。私のフラットメイトは、禁煙のキッチンでタバコを吸う、私が作り置きしていた物を食べる、片付けをしないうちで勝手に洗濯機で洗濯したりして怒っていましたが、その後話をすると冷蔵庫のものは全部共用だと思っていたり、キッチンで喫煙禁止だと知らなかったり、話をしないと分らなかった部分が見えてきました。最終的には直接話をし、冷蔵庫の棚を部屋ごとに分配する、自分のお皿は自分で片付ける、掃除当番を決めるなどして快適に過ごすことができました。



### 2. 今回の留学で自分が成長したと思う点(語学力・精神面等)

もちろん語学面でも成長しましたが、一番成長したのは精神面です。特に、何事にも挑戦しようという精神が身につきました。大きなきっかけとなったのが、チュービンゲンの人々とのコミュニケーションです。留学当初は、パディとマーケットに行った時、パディもトルコからの留学生なのに現地の人と積極的に会話をして笑っていました。その姿を見て、せっかくなので自分も色んな人と話したいと思い、伝わらないところはジェスチャーで色んな人と会話するようになりました。そしてもっと色んな人と話したい、と思い休日には色んな国に行ってその国の人々と話したり、課外活動に参加したりするようになりました。この経験を積んでから、積極的に人と会話することができ、人生の幅が広がったと感じます。



### 3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか(就職/大学院進学等)

卒業後も何らかの形で海外に関わっていきたいという思いを強く抱くようになりました。特に私の参加したプログラムでは、ヨーロッパについて文化面、経済面、法律面など多面的に学び、異文化理解に力を入れていました。留学で培った異文化理解力や色んな国の人との共生力は、どこで働くにしても武器になると思います。それらの力を使って、私が留学で受けた恩恵をどこかで還元したいと思っています。

### 4. プログラムに参加した感想(本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等)

留学に行きたいけどいきなり全部1人でするのは不安という方に向いたプログラムだと思います。現地には同志社大学の駐在員の方がいらっしゃるのでも心強いです。また、授業以外にもドイツの文化を体験できるプログラムが毎月のように用意されていて、いくつかはパディと参加もできるので、知らないうちにパディと仲良くなっています。そして、EUの政治面について学んだ次の週にフィールドワークでベルリンに行ったり、経済について学んだ週末にフランクフルトに行ったり、授業で聞いた話をすぐ目で見えて実感できるので、得心できるのがいいところだと思います。5か月という期間の中にオクトーバーフェストやクリスマスマーケットといったドイツならではの文化を存分に味わうことができるのもおすすめです。



派遣留学プログラム・英語

イギリス



## ロンドン大学(SOAS)

### 留学体験記

今回の派遣留学が初めての海外生活になったのですが、大学での講義に留まらず学びの多い1年間になりました。大学生活では、様々な人種や国籍の方が在籍している環境に身を置き、授業内外で多様な価値観を持つ人々と出会い、話をすることができました。留学前は、自身の英語力にかなり不安を感じていたのですが、実際に現地で生活してみると、日常生活の会話では自分が怖れていたほど文法力などは求められず、何よりも「コミュニケーションを取ろうとする気持ち」が大事なのだと感じました。大学の授業形態が、1時間は先生の話や講義、1時間は学生同士の討論、という形だったため、授業内でも自身の言葉を発する機会がしばしばありました。発言の瞬間はかなり緊張してしまい、うまく話を組み立てられないときもありましたが、先生や同じ講義を受講する仲間がその都度内容を確認してくれるなど、周りの助けを借りながら授業にもついていくことができました。授業外では、ロンドンという土地の特性を最大限味わおうと、ウエストエンドのミュージカルに頻りに足を運んだり、またヨーロッパ各地に足を延ばして美術・史跡など様々な文化に直接触れたりする機会もありました。特にウエストエンドでの観劇体験は、舞台芸術というジャンルに新たに興味を持ち、実際にウエストエンドに立地する劇場でのアルバイトに挑戦することにもつながって、私にとって大変貴重な経験となりました。



留学中は、大学で同じ講義を受けていた友人たちや先生、事務の方々など、周囲の人々に助けられていろいろなことを乗り越えられました。派遣留学の1年間は本当に貴重な体験の連続で、今後の人生にも大きな影響を与えるものになりました。現地では鉄道や大学のストライキなど、日本では滅多に遭遇しない体験に戸惑うこともありましたが、留学を後悔したことは留学中も留学後も全くありません。困難があった分だけ学びも得るものも多いかと思います。漠然とでも、留学してみたい気持ちがある方には、ぜひ挑戦していただきたいです。

### Q&A

#### 1. 留学の準備はいつから始めましたか？

留学は大学入学時から考えていました。派遣留学ではGPAが必要になるという情報もあったので、成績をできるだけ落とさないように気をつけていました。イギリス留学だったためIELTSを受けていたのですが、それも目標スコアに達するために1年次から何度か受験していました。ビザ申請などについては、同志社大学への学内出願に通った段階で調べ始めたと思います。留学前は特に英語に慣れていないこともあり、いろいろな手続きに時間がかかることが予想されたため、早め早めの準備を行うことを心がけました。



#### 2. 留学先での住居はどうされていましたか？

大学の運営する寮で暮らしていました。食事付き、トイレ・シャワーは共用、一人部屋の寮でした。留学先大学から入学許可がおりた後に寮に関する案内がメールで届いたため、そちらから申し込みました。いくつか寮はあったのですが、自身の希望する寮が定員に達しており入寮を受け付けていない場合もあったため、こちらも早めの申し込みが必要になります。寮費の決済などはすべてインターネット上のポータルで行えました。



#### 3. 留学先ではどのような授業を履修していましたか？

留学先がロンドン大学の東洋アフリカ研究学院で、自身も海外での日本文化の捉えられ方に興味を持っていたため、日本にまつわることを中心に学んでいました。日英翻訳の授業やクール・ジャパンの授業など、言語学や社会学、人類学などといった様々な観点から日本の文化にアプローチすることができました。人類学の授業では、「草食系男子」や「腐女子」といった言葉に表れる日本のジェンダー観などが学術的興味の対象として講義の議題になっていたのが特に印象的でした。日本文化の捉え方について新たな視座を得られたように思います。

#### 4. 留学中に就職活動はされていましたか？

正直、留学中は将来についてよりも今の状況をどう生きるかに精一杯で、あまり大学卒業後のことについて深く考えられていませんでした。現地で就職活動をしている日本人留学生の友人に触発されて、気になる会社の説明会などにもオンラインで参加しましたが、結局具体的に先に進めることはできず、帰国してからは大学院進学に道筋を定めました。自身の将来像もあまり描けていなかったことに加え、帰国後の単位互換の進捗によって卒業時期も定まらない状況だったため、留学中は大学の授業など目の前のことに集中して取り組みました。

#### 5. 留学に関する費用はどれくらいかかりますか？

渡航費：往復39万円ほど ビザ料金：15万円ほど 寮費：月16万円ほど 生活費・娯楽費：月10万円ほど  
円安とロンドンの物価高が重なりとても高かったです。

派遣留学プログラム・韓国語

韓国



## 延世大学

### 留学体験記

私は大学に入る前から大好きな韓国に長期で留学することが夢であり、目標でした。その目標のために、1年生の頃から成績の維持と韓国語の勉強を一生懸命してきました。そして、一番行きかけた延世大学の1年間留学を叶えることができて本当に嬉しかったです。言語の面では、昔から韓国語に触れてきたこともあり、韓国語には自信があったため、留学前でも正直不安はあまりありませんでした。しかし、一人暮らし自体が初めてだったので、異国の地でうまくやっていけるかという生活の面でも、とても不安でした。留学当初は、たくさんの日本人留学生と仲良くなり、お互い助け合いながら過ごしていました。しかし、日本人の友達とばかり仲良くなること、また日本人の子とずっといたり、頼ってしまったりすることに悩むようになりました。



しかし、その悩みもサークルに入ることでもなくなりました。私は延世大学で、K-POPダンスサークルに加入したのですが、そこで現地学生との交流が一気に広がり、忘れられない思い出をたくさん作ることができました。韓国入学生は、授業で友達を作るといよりはサークルや学科内で友達を作っているように感じたので、サークルに入って本当に良かったと思いました。ダンスサークルの活動を通して、韓国語での意思疎通にも慣れて、より仲を深めることができました。サークルの友達は皆、サークルの活動と練習をとて熱心しており、それと同時に学校の勉強、アルバイト、課外活動などいろいろなことをこなしているのを見て、私自身とても感化されました。



留学生活は毎日が新鮮で、その分、10ヵ月があつという間にすぎ、帰国後はとても寂しかったです。しかし、韓国の生活や文化が自分に合っていることがわかったため、将来は最終的に韓国で働きたい、あるいは韓国や韓国語に関連した仕事をしたいという新たな目標ができました。これからはその目標に向かってまたスタートしようと思います。留学は留学でしかできない貴重な経験がたくさんできると思うので、留学したいと考えている方はぜひ恐れずにチャレンジしてみてください。

### Q&A

#### 1. 留学の準備はいつから始めましたか？

もともと大学に入学した時から長期で韓国留学に行きたいと考えており、1年生の後半ごろに本格的に準備を始めました。派遣留学に行くには、GPAと語学力が必要だとわかっていたので、1年生の頃からGPAを維持することを心がけていました。3年生の1年間で留学をしたいと決めため、2年生の6月に出願しました。私は韓国語で出願すると決めていたので、TOPIKを2年生の4月に受けました。TOPIKの対策は受験の2、3ヵ月前に本格的に始めました。韓国の協定校調べは2年生に入ってからネットで調べたり、国際課に相談をしにいたりしていました。

#### 2. 留学先での住居はどうされていましたか？

1学期目は延世大学にある留学生用の寮(SK Global House)に住んでいました。入居の2ヵ月ほど前に先着の申し込みがあります。私はSK Global Houseの二人部屋を申し込みました。二人部屋には冷蔵庫がありませんが、トイレとシャワーは分かれています。地下三階に共用の冷蔵庫とキッチンがあります。寮にはジムや音楽室、パソコン室があり、各階には勉強スペースとラウンジがあります。ラウンジにはテレビ、電子レンジがあります。家賃は1学期間(4ヵ月)で、水道光熱費込みで185万ウォンでした。

また、夏休みに入る時に寮を退居し、2学期目は学校の正門まで歩いて3分のところにある新村のコシウォンに住んでいました。コシウォンは寮に比べると部屋は狭めですが、部屋にテレビ、冷蔵庫、電子レンジがありました。洗濯機、乾燥機、キッチンが共用で、キッチンにある白ごはん、卵、ラーメン、キムチは自由に食べることができました。保証金が20万ウォン、家賃は水道光熱費込みで月65万ウォンでした。

#### 3. 留学先ではどのような授業を履修していましたか？

同志社大学での専門分野だけでなく、一般教養も多く履修しました。歴史学や映画学、法学、心理学などとても幅広く、興味を持った授業を履修しました。語学は英語と韓国語の授業をとっていました。特に印象に残った授業は語学堂の授業です。授業は2時間・週3回あり、クラス12人ほどの少人数クラスなので、同じクラスの留学生みんなと仲良くなれて良かったです。先生も面白く、韓国語が伸びていくのを実感しました。他の授業は講義を聞くだけなのに、韓国語の授業は発表があったり、発言をしたりすることが多かったです。



#### 4. 留学中に就職活動はされていましたか？

留学中は授業やサークル活動に専念していたため、忙しくて全くできませんでした。周りは就職活動をしている中、何もできていないことに正直不安を抱えていました。一つ後悔していることは、韓国でインターンをしなかったことです。留学の後半に韓国で働きたいという思いが強くなりましたが、調べ始めるのが遅く、インターンをするのができませんでした。今のところ、2月ごろから日本で本格的に就活を始めようと考えていますが、休学をしてワーホリに行ったり、韓国で仕事を探したりすることも少し考えました。



#### 5. 留学に関する費用はどれくらいかかりますか？

往復航空券：約3万円 家賃：月7万円 食費：月3~4万円 生活費：月1~2万円 交際費：月2万円 総計：約150万円

# 奨学金

<https://international.doshisha.ac.jp/oia/scholarship/overview.html>

各奨学金には、出願資格や併給についての条件があります。

奨学金の概要や要項を必ず確認してください。



## サマープログラム/スプリングプログラム参加者対象の奨学金

### 同志社大学サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	5万円(返還不要)	帰国後に一括給付	—	国際課

## セメスタープログラム/EUキャンパスプログラム参加者対象の奨学金

### 同志社大学セメスタープログラム履修者に対する奨学金/ 同志社大学EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	20万円(返還不要)	帰国後に一括給付	—	国際課

## 派遣留学生対象の奨学金

### 同志社大学外国協定大学派遣留学生に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	20万円(留学期間3ヵ月以上6ヵ月未満) または40万円(留学期間6ヵ月以上) (返還不要)	出発する年の 年度末に一括給付	支給金額を超える 他の海外留学に対する 奨学金との併給不可	国際課



## 同志社校友会グローバル人材育成奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
2名 AKP加盟校およびKCJS加盟校への派遣留学生(学部生、大学院生) ただし、上記対象者がいない場合、 対象者を拡大する可能性あり	100万円(返還不要) (8ヵ月以上1年未満)	留学前に 一括給付	学内選考あり 他の海外留学に対する 奨学金との併給不可	国際課

## 協定校からの補助・奨学金

留学先大学によっては、独自で奨学金が支給される場合があります。

出願方法は、本学を通して出願する場合や、希望者自身が直接出願する場合等、留学先大学により異なります。

### 問合せ先

大学間協定による派遣留学の場合 国際課 参照先: "Go Global" ポートフォリオ 派遣留学プログラム 協定校 info

学部・研究科間協定による派遣留学の場合 所属学部・研究科

## 認定留学生対象の奨学金

### 同志社大学認定留学に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学部・研究科教授会 または研究科委員 会において認定留 学が認められた者	15万円(留学期間3ヵ月以上6ヵ月未満) または30万円(留学期間6ヵ月以上) (返還不要)	出発時に一括給付	—	国際課

※文学部英文学科セメスタープログラムにより留学する場合は20万円を支給する。

## 海外活動を伴う学部科目参加者対象の奨学金

### 同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
当該科目登録者 全員	① 海外活動を行うことが授業科目である場合 (学部専門型留学): 5万円～(日数別) ② 授業科目の一貫として海外活動が行われる場合: 一時金3万円 (返還不要)	帰国後に一括給付	当該科目において 合格評価を得た者に 給付	国際課

## その他学外団体からの奨学金

### 留学時特別増額貸与奨学金－独立行政法人日本学生支援機構(以下「JASSO」)

対象者	支給金額	支給回数	備考	問合せ先
第一種奨学金または第二種奨学金の貸与を受けている者のうち、学生交流に関する協定等に基づき、留学により取得した単位が単位として認定される3か月以上の短期留学をする者	10～50万円の 10万円単位の金額 から選択(有利子)	1回限り	申請方法・時期等は問合せ先におたずねください。	学生生活課 今出川校地 寒梅館1階  京田辺校地 成心館1階

### 海外留学支援制度(協定派遣)奨学金－JASSO

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
0～若干名 (年度により人数が異なる)	月額6～10万円(返還不要) (留学先の国・地域により異なる)	参加する留学プログラムの実施期間により異なる	学内選考あり JASSO貸与第一種、第二種奨学金との併給可	国際課

※本制度はJASSOより採択された場合のみ支給対象となります。採択された場合は大学から対象者に連絡します。

### 海外留学支援制度(大学院学位取得型)－JASSO

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学位取得目的で海外の大学院で学ぶ者 ダブルディグリー・プログラムも可	月額8万9千円～14万8千円 (年度・留学先地域により異なる) (返還不要)	博士前期(修士)は2年まで 博士後期は3年まで	授業料(保険料等の各種経費は除く)の支援あり	JASSO

※本学では大学とりまとめ応募は行っておりません。個人応募のみとなります。

## 奨学生の声

### 派遣留学プログラム

#### ペンシルベニア大学(KCJS加盟校) アメリカ

私は、同志社校友会グローバル人材育成奨学生としてご支援をいただきながら、アメリカのUniversity of Pennsylvaniaに1年間留学しています。円安による費用負担への影響は大きく、私が渡米した頃から円安が進み、1ドル151円まで上がった時もありました。University of Pennsylvaniaの留学生は寮に住み、ミールプランに入るという決まりがあるため、私の場合、それだけで年間\$17,000近くの費用がかかります。このような状況下でも、費用の心配をせずに勉学に集中することができ、サークル活動にも積極的に参加できたのは、奨学金のご支援のお陰です。残りの日々も、充実した留学生活を送れるよう、勉学に励んでいきたいと思えます。



## 奨学生の声

### 派遣留学プログラム

#### ポモナ大学(AKP加盟校) アメリカ

私は、同志社校友会グローバル人材育成奨学生としてアメリカのポモナ大学に留学しています。毎日のように参加をしたくなるイベントが開催されるポモナ大学ですが、日々の授業ではかなりの勉強量も求められるため、生活での少しの余裕が多く経験につながります。奨学金のご支援をいただけたことで、円安の中でも生活費の心配をせず、学業に集中できる環境を整えることができました。また、学業の合間にできた余暇を使って、大学主催のキャンプや環境政策のシミュレーションに参加するなど、貴重な経験を重ねることができています。そこで出会った教授と仲良くなったことで、来年には研究に助手として参加させていただく予定です。私がこのように留学先での生活を最大限楽しむことができているのは、奨学金のご支援をいただいたお陰です。



## その他学外団体からの奨学金【希望者自身で出願する自由応募型奨学金】

**地方自治体／民間団体の奨学金** 都道府県や市町村が、その地域の出身学生の海外留学を支援する奨学金を設けている場合があります。また、民間の団体・財団等が留学を支援する奨学金を設けている場合があります。

### 外国政府等の奨学金

外国政府、外国政府関係団体が、その国・地域の大学等へ留学する学生を支援する奨学金を設けている場合があります、それぞれに応募条件が定められています。また、留学先大学を本国側で指定される場合があります。

### 海外で募集される奨学金

留学先大学が独自に奨学金(授業料減免等も含む)を募集する場合や、現地の研究所や民間の団体が募集する場合があります。

## 学外奨学金参考URL

### 同志社大学国際課奨学金情報

<https://international.doshisha.ac.jp/oia/scholarship/other.html>  
希望者自身で出願する自由応募型奨学金について、同志社大学国際課に届いた奨学金情報を掲載



JASSO 海外留学奨学金パンフレット <https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet.html>



JASSO 海外留学奨学金検索サイト [https://ryugaku.jasso.go.jp/form/search.php?f=scholarship\\_abroad.html](https://ryugaku.jasso.go.jp/form/search.php?f=scholarship_abroad.html)



### 公益財団法人助成財団センター

<https://www.jfc.or.jp/>  
日本の助成財団による、海外留学に限定されない助成制度を掲載



**金融機関による教育ローン** 留学資金を自己資金や奨学金で賄うことが難しい場合、金融機関の教育ローンを利用する方法もあります。

**日本政策金融公庫の「国の教育ローン」** 外国の高等学校・高等専門学校・短期大学・大学・大学院等の教育施設に6か月以上留学する場合に融資の対象となります。

**その他の金融機関の「教育ローン」** 留学の場合にも利用できるものもあります。詳しくは、最寄りの金融機関にお問い合わせください。

# 語学力向上・語学試験における本学のサポート・国際関係科目・留学生との交流

## 語学力向上

### 正課科目

#### 外国語教育科目

#### 英語

2022年度に英語は新カリキュラムがスタートしました。1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした基幹科目を習熟度別に合わせて履修します。意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目(職業として英語を使用することを想定した科目、大学院進学など学術的な分野で英語を使用することを想定した科目)、留学に必要なTOEFL® テストやIELTS™ 対策を主として行う留学準備科目を設置しています。

科目例 ※以下は2022年度以降生向けの新カリキュラムの科目例となります。		
<b>基幹科目</b> ・Intensive Advanced English 1・2 ・Core English (LS) - Intermediate 1・2 ・Core English (RW) - Intermediate 1・2	・Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2 ・Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2 ・Basic English (LS) 1・2 ・Basic English (RW) 1・2	・General Academic English (LS) - Intermediate ・General Academic English (RW) - Intermediate ・General Academic English (LS) - Pre-Intermediate ・General Academic English (RW) - Pre-Intermediate
<b>上級科目</b> ・English for Professional Purposes 1・2	・English for Academic Purposes 1・2・3	
<b>留学準備科目</b> ・Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2	・Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2	

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2, Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2
TOEFL® テストやIELTS™ といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。こちらの科目は2021年度以前生も履修可能です。

### 初修外国語

初修外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の6つの言語について科目を設置しています。各外国語とも1年次で文法、発音の基礎を学び、2年次で読解力、表現力を向上させます。3・4年次生向けの高級科目や会話科目等、多彩な科目を設置しています。

科目例
・入門 I・II ・応用 1・2・3・4 ・インテンシヴ 等

### ■ 外国語オナーズ(外国語科目成績優秀者表彰制度)

高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度です。(学期始めに募集周知)

### ■ 語学カウンセリング

グローバル・コミュニケーション学部とグローバル地域文化学部所属教員に、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語での留学や学習方法等の相談ができる制度を設けています。今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて要予約。

## 留学出願/帰国後の実力確認に役立つ語学試験

### 主な語学能力試験

英語	TOEFL ITP®	国際課主催で年7回実施 テスト日時、申込方法等の詳細は、国際課HPをご確認ください。
	TOEFL iBT®	ETS(Educational Testing Service)のHPから各自お申し込みください。
	IELTS™	JSAFが主催するIELTS™のテストは、本学で受験することができます。 ～ IELTS for UKVI ～ イギリスに長期留学する場合に、学生ビザを取得する語学証明として必要となる場合があります。詳しくは、英国大使館HPをご確認ください。
	TOEIC® L&R IP	国際課主催で年8回実施 テスト日時、申込方法等の詳細は、国際課HPをご確認ください。
	TOEIC® L&R	国際ビジネスコミュニケーション協会のHPから各自お申し込みください。

ドイツ語	ゲート・ドイツ語検定試験	スペイン語	DELE
	ドイツ語技能検定試験		スペイン語技能検定
フランス語	DELF	ロシア語	ロシア語検定試験(ТРК И)
	TCF		ロシア語能力検定試験
	実用フランス語技能検定試験	コリア語	「ハングル」能力検定試験
中国語	漢語水平考試(HSK)		韓国語能力試験(TOPIK)
	中国語検定試験		

## TOEFL iBT® / IELTS™ テスト / TOEFL ITP® と TOEIC® L&R テストの違い

	TOEFL iBT® / IELTS™ / TOEFL ITP®	TOEIC® L&R
目的	主に英語圏の大学等に入学する上で、学業を修める英語能力があるかを判断するための1つの指標。	主に企業等が社員の英語能力を確認する上での1つの指標。
問題構成	「聴く・話す・読む・書く」の4技能をすべて測定する問題構成。(TOEFL ITP® は「聴く・読む」の2技能の問題構成)	「聴く・読む」の2技能に重点をおいた問題構成。
試験内容	主に英語圏の大学生生活に即した問題が多い。	主に日常生活やビジネスの場に即した問題が多い。
難易度	学修に必要な英語力を確認することが目的であるため、受験者にある程度の英語力が備わっていることを前提としており、難易度の高い問題が出題される。	非常に簡単な問題から難しい問題まで様々な難易度の問題が出題される。

### 外国語能力に関する個人情報の取扱いについて

英語のクラス分け試験のスコアや国際課主催で実施するTOEFL ITP® テスト、TOEIC® L&R IPのスコア、単位認定で大学に提出したスコア等、大学で把握しているスコアは、大学全体でのスコア分析等に、個人が特定されない形で活用させていただく場合があります。

## 語学試験対策講座(正課外講座)

### IELTS™ 対策講座

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl\\_ielts\\_toEIC/ielts\\_koza.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toEIC/ielts_koza.html)



IELTS™ (International English Language Testing System - アイエルツ)は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカ等、140か国、約11,000以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学では、課外講座として「IELTS™ 対策講座」を実施しています。

以下は、2024年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課HPを確認してください。

開講時期	春期休暇	2月下旬～3月下旬
	夏期休暇	8月下旬～9月上旬
定員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1クラス ・申込者多数の場合は、先約順(最少催行人数に申込人数が満たない場合は開講しない)	
受講料	春期休暇	国際課HPを確認
	夏期休暇	
申込期間	春期休暇	2月上旬～2月下旬
	夏期休暇	7月中旬～8月中旬
申込方法	Web 申込(申込 URL は募集開始時に公開)	
問合せ先	国際課	

### TOEIC® L&R テスト対策講座

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl\\_ielts\\_toEIC/toEIC\\_L\\_rip\\_koza.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toEIC/toEIC_L_rip_koza.html)



本学では、Standard(550点)コース、Advanced(730点)コースの2コースの対策講座を実施しています。

以下は、2024年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課HPを確認してください。

開講時期	春学期前期/後期	5月下旬～6月中旬/6月下旬～7月中旬
	夏期休暇	9月中旬～9月下旬
	秋学期前期/後期	10月下旬～11月中旬/11月下旬～12月中旬
	春期休暇	3月上旬～3月中旬
定員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1クラス ・申込者多数の場合は、先着順(最少催行人数に申込人数が満たない場合は開講しない)	
受講料	国際課HPを確認	
申込期間	国際課HPを確認	
申込方法	学内申込ブース(詳細は国際課HPを確認)	
問合せ先	国際課	

※TOEFL® および TOEIC® はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。  
※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

## 語学試験における本学のサポート

### 留学プログラムへの申請を前提とした外部試験の受験料半額補助

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl\\_ielts\\_toEIC/subsidy.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/toefl_ielts_toEIC/subsidy.html)

留学プログラムへの申請を前提に、学外機関の実施する語学試験を受験後、申請期間に申請された場合、受験料の半額補助を受けられる制度です。申請期間は、春学期および秋学期に設定されており、補助を申請できる試験は、本学で指定している試験に限ります。年度によって、募集時期、募集方法や対象となる試験を変更する可能性がありますので、必ず国際課HPから詳細を確認してから応募をするようにしてください。



## 国際関係科目

### 外国語による科目履修

本学では、下記のとおり外国語で行われる科目を設置しています。幅広い分野の学びと、更なる語学力向上につながる科目です。また、これらの科目の中には、外国人留学生とともに学ぶ科目もあり、日本にいながらグローバルな環境で学ぶことができます。

### SAP(Study Abroad Program) 科目

下記の海外トップレベルの大学やコンソーシアム(複数の大学で構成される団体)が同志社大学今出川キャンパス内に日本オフィスを設置しています。そして、日本や東アジアに興味や研究対象を持つ留学生や教員が毎年多数来日し、同志社大学のオフィスや教室を拠点として日本に関する勉強・研究をしています。通常、これらの大学やコンソーシアムは同志社大学とは別の組織として独自に授業や研究を行っていますが、一部の授業は同志社大学生も受講することができます。

科目ごとの概要や登録・履修上の注意点は下記のウェブサイトをご確認ください。

#### AKP(Associated Kyoto Program) 科目

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp\\_kcjs\\_stanford\\_tub/akp.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/akp.html)



AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ(アーモスト大学、ベイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

#### KCJS(Kyoto Consortium for Japanese Studies) 科目

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp\\_kcjs\\_stanford\\_tub/kcjs.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/kcjs.html)



KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、1年または1学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学(パーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イエール大学、バージニア大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

#### スタンフォード大学科目

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp\\_kcjs\\_stanford\\_tub/stanford.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/stanford.html)



スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

#### チュービンゲン大学科目

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp\\_kcjs\\_stanford\\_tub/tub.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/akp_kcjs_stanford_tub/tub.html)



チュービンゲン大学同志社日本研究センター(以下、TCJS)は、ドイツのチュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年チュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているチュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をチュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、チュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。(この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。)

### ILA(国際教育インスティテュート)科目

国際教育インスティテュート(ILA)は、志高館を拠点にリベラルアーツ教育を英語で行う組織です。英語での科目履修のみで学位を取得し卒業できる「国際教養コース」の学生が履修しています。国際教養コースには、留学生のほか、日本人でも帰国子女等英語力が高い学生が所属しています。ILAの科目はすべて英語で行われ、「Japanese Society and Global Culture」、「Japanese Business and the Global Economy」、「Japanese Politics and Global Studies」の3つのコンセントレーションに分かれています。学部によっては、ILAの一部の科目を「国際専修コース」生として履修できる場合があります。履修可否・履修方法・履修可能科目等の条件は、学部ごとに異なります。詳細は、所属学部事務室にお問い合わせください。

### グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

国際教養教育院が提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目の一部を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。講義はすべて英語で行われます。「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は2016年度以降に入学するすべての学部生を対象にしています。(詳細は、「全学共通教養教育科目履修要項」を参照)

### グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目の特徴

- ・グローバル社会で活躍するために必須の国際教養を身につける
- ・実践的な英語運用の力を磨く
- ・海外留学のための準備、帰国後のフォローアップとしても効果的
- ・少人数クラス(1クラス25人程度)中心
- ・外国人留学生とともに学ぶクラス
- ・グループワークやディスカッション中心の対話型授業
- ・副専攻の履修を目標にしていない場合でも、1科目のみでも履修可能

### グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目(例)

海外フィールドワーク	Mid-college "Be Strong" Program(アメリカ・ワシントンD.C.) 国際教養の修得あるいは実践的な場で英語運用能力を積極的に活かしたい方を対象としたプログラムです。 グローバルリーダーが集まるワシントンD.C.で、実際にあらゆる境界を越えて働く人々に出会い、真のグローバルリーダーシップとは何かを探ります。
入門・導入	Introduction to Japanese Culture in the Global Context
応用・発展	Humanities and Global Issues
	Social Sciences and Global Issues
各論・展開	Japan in Modern World History
	Issues in Japanese Culture
	Democracy and Politics: A Comparative Perspective
	Economy and Business in the Global Context
	Statistics for the Social Sciences and Humanities
	Introduction to Computer Science and Information Technology
	Advanced Seminar 1・2・3
SAP(Study Abroad Program)	AKP科目
	KCJS科目
	スタンフォード大学科目
	チュービンゲン大学科目

### ■ 同志社英語集中プログラム

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講し、海外留学を実現できるよう、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの修得を目指すプログラムです。副専攻の英語開講科目を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをお勧めします。詳細は、「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。

## グローバル人材になるための基礎固め- グローバル人材関連科目

本学では、グローバル社会で活躍するために必要な能力を身につけた人材を育成することを目的に、全学共通教養教育科目の国際教養科目群を中心に多様な科目を設置しています。外国語によるコミュニケーション能力や国際社会における諸課題を理解し分析・解決する能力の向上、日本と世界の歴史や文化・宗教への理解や、日本の伝統や現代文化に対する知識の修得が可能です。

科目例	クリエイティブ・ジャパン科目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建学の精神とキリスト教、旧約聖書とキリスト教、新約聖書とキリスト教</li> <li>・ 国際教養基礎論1・2、ジョイント・セミナー比較文化論</li> <li>・ 日本近現代史、世界近現代史、世界の宗教</li> <li>・ 比較言語文化論1・2、地域言語文化論1・2、メタ言語文化論1・2</li> <li>・ Freshman “Go Global” Program -51(ベトナム)</li> <li>・ Freshman “Go Global” Program -52(ドイツ他)</li> <li>・ クリエイティブ・ジャパン科目</li> </ul>	<p>「クリエイティブ・ジャパン科目」は京都科目、クールジャパン科目、クリエイティブ・ジャパン科目のほか、言語や文化の異なる学生同士が日本の伝統、文化についてともに学ぶ科目で構成され、文化、芸術による日本社会のクリエイティブ性の向上と、文化による日本のブランディングについて考察します。</p> <p>また、日本の文化を世界に発信する力の強化なども扱います。</p>

本学では、創立以来一貫して国際主義を教育理念の一つの柱としており、高度な語学教育を提供しています。また、課外講座として語学試験対策講座等も実施しています。シラバス、外国語学習ガイドブック、登録要領等をもとに、必要科目を検討の上、科目登録をしてください。

## 留学生との交流

### 外国人留学生との交流

本学では、国際交流促進のため、様々な機会を提供しています。また、外国人留学生をサポートする制度を設けています。国際交流活動に積極的に参加することで、外国人留学生の本学での生活が充実したものになることはもちろん、日本在住の皆さんにとっても、日本にいながらにして国際交流・異文化理解を深化させ、様々な経験や知識を得る絶好の機会となります。詳しくは、本学HPや留学生課掲示板、SIED Instagram等をご覧ください。

### 国際交流ラウンジ

国際交流ラウンジは、国籍を越えた交流を目的に設けており、外国人留学生も頻りに利用しています。開室時間中は自由に利用でき、また、国際交流イベントも多数開催していますので積極的にご活用ください。詳しくは、留学生課へご確認ください。



**今出川校地** 扶桑館2階 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

**京田辺校地** 嗣業館1階 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

### 国際交流イベント

国内学生と外国人留学生が交流する様々な機会を提供しています。留学生課学生スタッフSIED(Student Staff for Intercultural Events at Doshisha -シード)は、新人外国人留学生歓迎行事や多種多様な国際交流イベントを企画・実施しています。詳しくは、留学生課HPやSIED Instagram、国際交流ラウンジ掲示板等をご確認ください。



◀ SIED  
(留学生課HP)



◀ SIED  
Instagram

### 外国人留学生サポートボランティア

本学では、外国人留学生との交流のきっかけとなる各種ボランティアを年間を通じて募集しています。詳しくは、各事務室へお問い合わせください。

各種ボランティア	問合せ先
日本語授業ボランティア	国際教養教育院事務室
入寮サポート	留学生課
新入外国人留学生サポートサービス	
短期プログラム交流ボランティア	



### 外国人留学生ピアサポート制度

本学の学生が、外国人留学生の修学・生活上の相談に応じたり、日本語学習の会話パートナーとして異文化交流を深めたりする「外国人留学生ピアサポート制度」を設けています。詳しくは、留学生課へご確認ください。



## 留学先での生活

### 生活全般

#### 住居

基本的に留学先での住居は主に下記3つのパターンがあり、参加するプログラム、留学する国、留学先大学によって滞在先は異なります。

寮に関する手続きを事前に確認しておきましょう。

#### ①大学寮

大学の敷地内にある学生寮に滞在する形態です。ルームメイトがいる共同部屋の寮もあれば、個室がいくつかあり、共同で利用するリビングやキッチン、バスルーム等に隣接しているアパートタイプの寮もあります。ほとんどの場合、ベッド、勉強机、クローゼット等は備え付けられていますが、シーツや毛布等は自身で用意します。生活用品は学生同士で譲り合ったり、近隣のディスカウントストア等でそろえることが多いです。

#### ②ホームステイ

留学先大学やその提携機関が斡旋する、現地の一般家庭に滞在する形態です。家具付きの1人部屋が与えられ、家族の一員として留学期間を過ごします。ホストファミリーの家族構成は、両親と子供、老夫婦、シングルペアレントと子供、未入籍のカップル等様々です。人種や宗教等も家族ごとに異なります。身をもって留学先の生活様式や文化を学ぶことができます。また、複数の学生を受け入れているホストファミリーやペットがいるホストファミリーもあります。

#### ③アパート

留学先大学等が斡旋する現地のアパートに滞在する形態です。留学先大学に学生寮がない等の場合の選択肢となります。また、留学開始時は学生寮に住んで、現地に慣れてきたら寮を出てアパートに移るといった選択肢もあります。ベッドやテーブル等の備え付け家具付きの物件を選んだり、いくつか部屋があるアパートを何人かで借りてルームシェアをすることで安く生活する方法もあります。食事は自炊の場合が多いですが、大学の食堂等で取ることも可能です。**契約書にサインする前に、トラブル防止のため、必ず物件や契約内容の確認を入念に行いましょう。**

### 食事

食事は、大きく分けて下記3つのパターンがあります。

#### ①Meal-Plan

多くの場合、大学には食堂やカフェテリアがあり、そのMeal-Planを利用します。通常、1週間あたりの食事の回数が決まっており、週15回、19回、21回等、自分のライフスタイルに合わせて選ぶことが多いです。食事はピュッフェ形式等様々です。寮生活の場合、食費は寮費と一緒に納める場合もあります。

#### ②ホームステイでの食事

一般的に平日は朝・夕食付き、週末や休日は朝・昼・夕食付きの家庭が多いです。平日の昼食は、自身でお弁当を準備して持参したり、留学先大学のカフェテリアや大学近くのレストラン等で食べることになります。その他、平日・休日を問わず1日3食の用意がある場合もあります。

#### ③自炊

キッチンがついている寮であれば自炊もできます。また、ホストファミリーに許可を得て、ホームステイ先のキッチンを借りて自炊ができる場合もあります。

### 大学生活

#### 学業

慣れない海外での生活をしながら勉強に集中することは大変なことです。また、言葉の壁がある中で勉強することは想像以上に労力を必要とし、思うようにいかないこともたくさん経験するかもしれません。しかし、最後まで必死に努力すれば、留学後には飛躍的に成長したことを実感できるはずです。

#### 課外活動

留学先大学によっては、クラブ活動、ボランティア活動、インターンシップ等に参加することができる場合があります。また、International Center等が主催している留学生のための交流プログラムがある研修先もあります。また、Language Partner制度やInternational Festival等、研修先によって様々なプログラムやアクティビティ等が用意されています。

授業が始まる前に多くの人たちと交流し仲良くなれる機会となるでしょう。

#### オリエンテーション

多くの研修先で、留学先大学到着後の講義開始前に、留学生を対象とした学内施設の紹介、各種支援サービス、科目登録方法等に関する重要な説明会があります。留学生生活を開始するにあたり有益な情報を得ることができますので、必ず参加するようにしましょう。プログラムによっては参加が必須の場合もあります。

## 危機管理

皆さんが住んでいる日本は、世界で最も安全な国の一つです。一般的に、海外では日本よりも様々なリスクがあります。「リスクを減らす行動を心がける」「自分の身は自分で守る」という基本姿勢を徹底することが重要です。軽率な行動は取らない、危険な場所は避ける、安全に関する情報を収集する、犯罪者に狙われやすい格好や隙のある行動をしない等、トラブルを招く可能性がある行動をできるだけ減らし危険を回避すること、トラブルが発生した場合も被害を最小限に抑えることが大変重要です。また、昨今の世界情勢は刻一刻と変化しており、比較的安全と思われていた国や地域でも犯罪が急増したり、テロ等の標的とされるケースがあります。どこの国・地域に留学しようとも、学生の皆さん一人ひとりが危機管理や自己防衛意識を高く持つことが求められます。

以下は、気をつけなければならない例です。注意すべきことはこれだけではありませんが、危機意識を強く持っておきましょう。

- 人の少ない場所には1人で行かない
- 大金を持ち歩かない、複数の財布を併用する等お金を分散して持ち歩く
- 人が多く集まる場所にはできるだけ近づかない
- 見知らぬ人には気を許さない
- (スリ・テロ等のリスク回避)
- 日没後はできるだけ出歩かない
- 華美な服装を避ける、高価なものやブランド品を身につけない
- 現地の法令を守る(交通規則・飲酒年齢に違反しない)

## トラブルが発生した場合

どれだけ注意していても、トラブルに巻き込まれることはあります。そのような場合は、まず、「留学生危機管理サービス」のヘルプライン(24時間受付)に連絡してください。必要な手続き等について適切なアドバイスやサポートを受けることができます。その上で、警察への被害届の提出、ポリスレポート(被害届)受理書の入手等を行ってください。その後の保険金請求等に必要となります。

## 盗難・紛失

特にホームステイ先やホームルームで盗難・紛失があった場合、自分の仲間や友人を疑うことになり、今後の信頼関係を築くことが難しくなる可能性があります。日本から遠く離れた環境で、精神的にも辛い経験となる場合がありますので、被害に遭う隙を与えないよう行動しましょう。

## 海外旅行保険

同志社大学の海外留学制度で留学する場合、本学が条件を指定する海外旅行保険への加入が義務付けられています。指定の海外旅行保険に加入しない場合、留学できません。留学中のけがや病気、盗難等に備え、必ず加入してください。クレジットカード付帯の海外旅行保険は、補償期間や補償内容が不十分です。また、留学先大学等が指定する健康保険等に加入する場合であっても、学期外の期間は対象外・賠償責任保険がない・救援費用が出ない等、補償期間や補償内容が不十分な場合があります。必ず本学指定の海外旅行保険に加入してください。なお、本学指定の海外旅行保険は、学生の皆さんの経済的な負担を減らすため、東京海上日動火災保険株式会社と海外旅行保険の包括協定を締結し、割安な保険料で申し込むことができるようにしています。

## セクシャルハラスメント

留学中に文化の相違により、意思疎通がうまくいかず、予想もしないような誤解を招くことがあります。そのような誤解が、レイプやセクシャルハラスメントを引き起こすことがあります。自分自身を守るため、文化の違いを理解しておくことが重要です。嫌な場合は、はっきり「No」と伝え、曖昧な態度を取らないようにしましょう。また、閉ざされた空間で二人きりになることは極力避けましょう。当事者同士の話し合いで解決が困難な場合、留学生アドバイザーやカウンセラー等、信頼できる人にご相談ください。

## 自動車の運転

同志社大学の留学プログラムによる留学中は、**自動車・バイクの運転は一切禁止です**。万が一自動車・バイクを運転し、交通事故を起こした場合は多額の賠償金を請求されることがあります。

## 飲酒・喫煙

留学先によって法律で認められている年齢が異なり、違反すると厳しい処罰が科せられます。渡航先の法令や留学先大学のルールを遵守してください。

## 麻薬・覚醒剤

留学先によっては、日本よりも薬物が身近に売られている場合があります。マリファナを含む麻薬・覚せい剤は、一度使用しただけで、身体的・精神的に薬物に依存してしまい、自発的に使用をやめることが困難となります。また、麻薬・覚せい剤の所持・使用は、死刑等、日本以上に厳しく処罰される国も少なくありません。**薬物には絶対に手を出してはいけません**。薬物に触れることで、人生を台無しにしないよう、十分注意してください。



## 外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

外務省海外安全ホームページには、国・地域ごとの安全情報・危険情報・感染症危険情報・スポット情報・広域情報が掲載されています。また、海外渡航・滞在に役立つ情報を調べることもできます。出願前に、必ずご父母等の保証人の方とともに、渡航予定の国・地域の情報を確認してください。

## 同志社大学の危機管理

### 留学生危機管理サービス

同志社大学では、本学の海外留学制度で留学する学生を対象に、海外留学生安全対策協議会(JCSOS)または日本エマージェンシーアシスタンス株式会社の留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入を行っています。このサービスへ加入することにより、留学中のトラブルを24時間年中無休でサポートする体制を整えています。安否確認や留学先でけがや病気等に遭った場合の現地医療機関の紹介や予約手配、医療受診時等の通訳手配、医療搬送、また、現地で事故、災害、テロ、その他のトラブルに巻き込まれた場合には現地へ人員を派遣、ネゴシエーターを手配等解決への適切な対応を行うアシスタントサービスです。

### 留学プログラム実施の是非

同志社大学の海外留学プログラムは、日本国外務省海外安全ホームページの「危険情報」「感染症危険情報」をもとに、「レベル2:不要不急の渡航は止めてください。」以上の地域への留学は原則として行っていません。「レベル2」もしくはそれ以上の危険情報が発出または継続している場合、学生の皆さんの安全確保を最優先とし、留学期間中であっても留学を中止し帰国を勧告することとなります。

## 健康管理

慣れない海外での生活では、健康管理が非常に重要です。体調を崩さないように健康管理には十分に気をつけましょう。もし身体の調子がおかしいと感じた場合は、速やかに留学先大学の診療所や病院を受診しましょう。また、時には精神的に辛いこともあるかもしれません。困ったときや悩んだときは一人で抱え込まず、友人や留学先大学のスタッフ、カウンセラーに相談するようにしましょう。

## 出発前の準備

持病がある場合、自己責任のもと、対処法を十分に理解し、万が一に備えて準備しておく必要があります。もし現地で発病した際に周りの方や現地の医師に病気の内容や今までの経過を説明できるよう準備してください。持病の程度によっては、英文の診断書を留学先に持っていくとよいでしょう。現在服用している常備薬があれば、可能な範囲で持参しましょう。ただし、日本では医師から処方してもらった合法の薬でも、渡航先の国によっては持ち込むことができない場合があります。取扱いは渡航先の国・地域によって異なりますので、処方箋や持参する量等が渡航先の法令上問題がないか事前に自身の責任で十分に確認してください。禁止薬物の持ち込み・所持・使用は厳しい処罰が科せられる場合があります。歯の治療は、国・地域によっては十分な治療を受けられない場合や治療費が極めて高額になる場合があります。歯の治療は海外旅行保険等では原則カバーされないため、場合によっては高額な出費になります。出発前に必要な治療をしてから渡航してください。

## けが/病気になったら

まずは留学先大学の診療所や近隣の病院で受診してください。大学には診療所や病院が併設されている場合もあります。事前に場所や受診に必要な書類等を確認しておくことも重要です。どの病院を受診すればよいかわからない場合や緊急の際は、身近な人に助けを求めるとともに、「留学生危機管理サービス」(P.45参照)のヘルプライン(24時間受付)に電話してください。

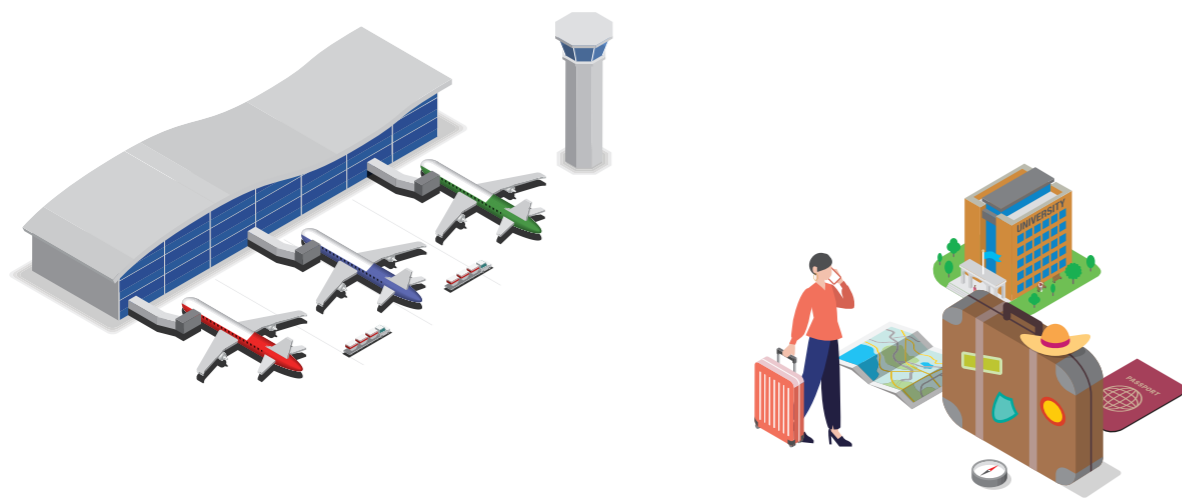
病院を受診した際は、必ず「診断書」と「領収書」を受領しましょう。後日、海外旅行保険を使って保険金の請求をする際に必要となります。また、病院で出された処方箋で薬を購入した場合にはその費用も請求が可能のため、領収書を保管するようにしてください。

## カルチャーショック(留学中)

外国等の異なる文化で生活する中で、自分の生まれ育った国や文化で培ってきた言葉や習慣、行動様式等が通用しないことで起こるショック状態のことを指します。異文化適応のための自然な過程ですが、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあり、その影響が疲労感、焦り、不安、神経質、憂うつ、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症等となって現れることもあります。カルチャーショックについて渡航前に知っておき、実際にカルチャーショックを感じた時は、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談ください。カルチャーショックを感じた出来事を肯定的に受け止め、自分なりに克服すれば、自国と他国の長所と短所を冷静に比較できるようになり、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

## 逆カルチャーショック(帰国後)

留学後に自国の社会に後帰するにあたって直面する適応上の問題や心理的葛藤のことを指します。留学先で培った価値観や行動様式をそのまま自国に持ち帰ったものの、それが通用せず、「以前と変わった」等と批判されてショックを受けることがあります。逆カルチャーショックへの対処法で大切なことは、自分自身を肯定的にとらえることです。一度カルチャーショックを乗り越えて異文化に適応できたからこそ逆カルチャーショックが起こっているのですから、自分は2つの異文化に適応できた、自国と留学した国両方の良い面、悪い面について考えることができるようになったという積極的な考え方をするように心がけましょう。カルチャーショックを克服したように、逆カルチャーショックも時間が解決してくれます。あまり焦らず、自分の置かれた環境をよく観察して、どのようにしたら「留学体験」をこれからの進路に活かせるかを考えましょう。



# 留学と就職活動


「留学に行きたいけれどその後の就職活動が心配」という方は、キャリアセンターに相談しましょう。

## ■帰国後の就職活動を視野に入れた留学計画を

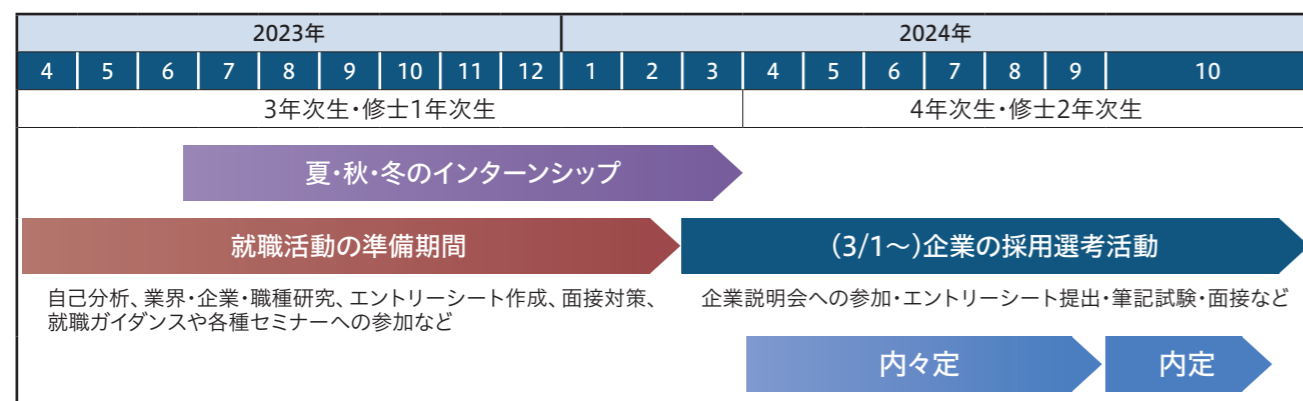
留学を考えている方は、「留学するとその後の就職活動にどのような影響があるのか?」「帰国後の就職活動をどのように進めればよいのか?」など様々な疑問や不安があると思います。基本的な就職活動スケジュールは【表1】の通りですが、特に、3年次生・修士1年次生の3月1日以降(企業の採用選考活動が正式に始まる時期)に帰国予定の場合は、留学中から可能な範囲で就職活動の準備を進め、情報収集等しておく必要があります。帰国予定が3月1日以前でも、就職活動準備が本格化する10月以降に帰国する場合は、同様に準備を進めておくといでしょう。実際には、留学が就職活動に与える影響の度合いや準備の進め方は、留学時期や帰国のタイミング、希望する進路によって異なります。個々のケースについては、キャリアセンターの「個別相談」を利用して相談してください。

**【個別相談の利用方法】**

キャリア支援システム「e-career」から事前予約をしてください。  
e-careerトップ画面⇒MENU⇒個別相談  
<https://e-career.doshisha.ac.jp/portal/>



【表1】就職活動スケジュール概要 ※2024年9月・2025年3月卒業・修了見込者の場合



※2025年9月・2026年3月卒業・修了見込者も同様のスケジュールで実施されることが決定しています。

## ■留学中にできる就職活動(一例)

留学中は、以下のような方法で就職活動の準備を進めることが可能です。コロナ禍で拡充したオンラインでの就職支援サービスや、企業のインターンシップおよび選考は今後も継続される見込みで、海外からの就職活動も進めやすくなっています。

### ◆キャリアセンターの就職支援をオンラインで利用する

- ・就職ガイダンスや各種セミナーの一部はオンラインで実施、後日視聴できるようにオンデマンド動画配信も行っています。  
※オンデマンド動画視聴方法: e-careerトップ画面⇒セミナー動画配信
- ・前述した「個別相談」はWebでの相談にも対応していますので、留学先からでも利用できます。

### ◆オンラインで実施される企業のインターンシップや説明会等へ参加する

### ◆海外で開催されるキャリアイベントへ参加する

- ・キャリアフォーラム(株式会社ディスコ主催)、マイナビ国際派就職、Global Career Expo など

## ■留学経験を就職活動で活かすために

留学=就職に有利、という訳ではありません。就職活動では「どのような目的をもって留学し、どのような目標設定を持って過ごしたのか?」「その過程でぶつかる困難に対し、どう考え、行動して乗り越えようとしたのか?」という成長の過程を自分の言葉で伝えることが求められます。そのために、留学中は日々の記録を書き留めておくことをお勧めします。

企業が留学経験者に期待するのは、語学力や異文化適応力だけではなく、日本と異なる環境で培ったチャレンジ精神や多角的な視野、多様な価値観を持つ人々と協業、交渉できるコミュニケーション能力など、グローバル人材として必須の能力がより一層求められていることを理解しておきましょう。

### 留学経験・語学力を活かせる「キャリア」を考える

キャリアセンターでは、例年7月から9月頃に様々な分野でグローバルに活躍される本学OBOGの講演会などを実施しています。留学経験・語学力を活かせる仕事を知る絶好の機会ですので、ぜひ参加してください。  
※2024年度の開催概要は決定次第、キャリアセンターホームページでお知らせします。

### キャリアセンター利用案内

今出川校地 寒梅館2階 TEL 075-251-3310  
京田辺校地 副業館1階 TEL 0774-65-7016

### 〈開室時間〉

平日 / 9:00 - 11:30, 12:30 - 17:00

土曜・日曜・祝日および大学が定める休日は閉室

※開室時間などの変更については、キャリアセンターホームページでお知らせします。



<キャリアセンターホームページ>

<https://career-center.doshisha.ac.jp/career/>

# Study Abroad × Career Design Sheet



## 留学前

具体的に考えてみましょう!

★自分に合った留学プランを立ててみましょう!(目的・期間・国/地域・出発/帰国時期・予算 etc...)

何を学びたい? 目的は?(例:語学力向上)	
期間は?(例:1セメスター)	
時期は?(例:2年生秋学期)	
地域は?(例:中国)	
予算はどのくらい?(例:1ヵ月約●万円)	

## 留学中

目標があるかないとは大違い! 想像してみましょう!



★留学中に身につけたいことは? ※語学力+αで考えてみましょう。

★留学中にできる就職活動にはどんなものがあるのか、調べてみましょう。

★こうなっていたい! 留学後の自分!

## 留学後

留学を留学だけで終わらせない! その先を見据えて考えてみましょう!



★留学後の自分のアピールポイントは?

★留学経験を活かしたい分野・職業は?



# Doshisha “Go Global” Passport

## Doshisha “Go Global” Passport とは

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には、「Doshisha “Go Global” Passport」を授与します。これは、グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証になります。

また、所定の手続きにより、成績証明書に「Doshisha “Go Global” Passport」取得者であることが記載されます。取得を目指して、積極的に関係科目を履修しましょう。



**授与要件: 次のIまたはIIのいずれかを満たした者に授与する。**

※2013年度以降入学の学部生に授与するものとする。

## I 次の①から④のいずれかを満たし、⑤および⑥のすべてを満たした者

- ① TOEFL iBT® テスト 79点以上  
(TOEFL iBT® Home Edition テストも可。  
「Test Date スコア」のみ可。「My Best™ スコア」は認めない)。TOEFL ITP® テスト550点以上、TOEIC® L&R テスト730点以上、TOEIC® L&R IP テスト 730点以上、または右表の「授与要件①を満たす英語の試験および資格・スコア」のいずれかを有すること。
- ② 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」  
「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」  
「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」  
「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- ③ 初修外国語について、右表の「授与要件③を満たす初修外国語の試験および資格・スコア」のいずれかを有すること。
- ④ 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価などを得ていること。
- ⑤ 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちのいずれか1科目の単位を修得すること。
- ⑥ 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」のうち2科目の単位を修得すること。

### ■ 授与要件①を満たす英語の試験および資格・スコア

試験名	スコア/級
TOEFL iBT® テスト(※) TOEFL iBT® Home Edition テストも可	79~
TOEFL ITP® テスト	550~
TOEIC® L&R テスト	730~
TOEIC® L&R IP テスト	730~
IELTS™	6.0~
国連英検	A級以上(該当級:A、特A)
英検	準1級以上(該当級:準1級、1級)
ケンブリッジ英検	First Certificate 以上(該当級:FCE、CAE、CPE)
CASEC	700~

なお、国際教育インスティテュート(ILA)においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなします。

※「Test Date スコア」のみ可。「My Best™ スコア」は認めない。

### ■ 授与要件③を満たす初修外国語の試験および資格・スコア

	試験名	スコア/級
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級、1級)
フランス語	DELTA	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)*C1、C2は、試験名がDALFとなる
	TCF 実用フランス語技能検定試験	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2) 準1級以上(該当級:準1級、1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級)*GC中国語コースは5級以上*5、6級については、3パート合計180点以上でクリア
	中国語検定試験 中国語コミュニケーション能力検定	3級以上(該当級:3級、2級、準1級、1級)*GC中国語コースは2級以上 400~1,000点(該当級:レベルD、C、B、A)
スペイン語	DELE	B1以上(該当級:B1、B2、C1、C2)
	スペイン語技能検定	4級以上(該当級:4級、3級、2級、1級)
ロシア語	ТРКИ	第1レベル以上(該当級:第1、第2、第3、第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上(該当級:2級、1級)
韓国語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上(該当級:4級、5級、6級)
	ハングル能力検定試験 KLAT(旧KLPT)	準2級以上(該当級:準2級、2級、1級) 4級以上(該当級:4級、5級、6級)*旧KLPTは350~500点

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはなりません。

## II グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者

※TOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

# 短期プログラム・EUキャンパスプログラム 統計

各プログラムの内容は変更になる可能性がありますので、出願する場合は、最新の情報を各プログラムHPにてご確認ください。

- 出願者数は、第1希望のみの人数です。
- 英語プログラム(スタンフォード大学を除く)の合格者数は合格発表時点の人数で、第2・第3希望として併願をしていたプログラムで合格した人数も含まれます。

## サマープログラム2023

科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
サマープログラム・英語A	ヨーク大学	イギリス	約24名	12名	49名	24名
	ディーキン大学	オーストラリア	約20名	10名	29名	20名
	アリゾナ大学	アメリカ	休講			
	ゲルフ大学	カナダ	休講			
サマープログラム・英語B	トンブソン・リバーズ大学	カナダ	約30名	11名	45名	35名
	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	約25名	10名	13名	21名
	ヨーク・カレッジ大学	アイルランド	約15名	1名	9名	13名
サマープログラム・英語C	ケンブリッジ大学	イギリス	休講			
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	アメリカ	約20名	10名	7名	最少催行人数に満たなかったため休講
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学	ドイツ	約20名	1名	5名	4名
サマープログラム・フランス語	フランシュ=コンテ大学	フランス	約20名	4名	9名	9名
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学	メキシコ	休講			
サマープログラム・ロシア語	ロシア国立サンクトペテルブルク経済大学(※)	ロシア	休講			
サマープログラム・韓国語	延世大学	韓国	約20名	7名	28名	23名
サマープログラム・英語A(オンライン)	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	約30名	5名	8名	6名
サマープログラム・中国語(オンライン)	北京大学(※)	中国	約20名	1名	7名	北京大学がオンライン授業を取りやめたため休講

※ロシア語(ロシア国立サンクトペテルブルク大学)は隔年で実施しており、最終実施は2018年度です。

## スプリングプログラム2023

科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
スプリングプログラム・英語A	ホーソン・メルボルン英語学校	オーストラリア	約25名	20名	47名	30名
	ヨーク大学	イギリス	約24名	10名	47名	24名
スプリングプログラム・英語B	セント・メアリーズ大学	カナダ	約30名	15名	22名	25名
	オークランド大学	ニュージーランド	約20名	12名	12名	20名
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	約25名	10名	10名	12名
	オタゴ大学	ニュージーランド	約25名	10名	21名	25名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学	ドイツ	約20名	1名	8名	8名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	約20名	5名	12名	12名
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学(※)	中国	休講			
スプリングプログラム・スペイン語B	サラマンカ大学	スペイン	約20名	10名	17名	17名
スプリングプログラム・韓国語	慶熙大学	韓国	約20名	1名	23名	21名
スプリングプログラム・英語A(オンライン)	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	約30名	5名	0名	1名

※中国語(華東師範大学)は、2024年度から実施予定です。

## セメスタープログラム2023

科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
セメスタープログラム・英語I、II	ウィニベグ大学	カナダ	約30名	10名	27名	27名
	ディーキン大学	オーストラリア	約30名	10名	33名	30名
	ハワイ大学マノア校	アメリカ	約30名	7名	6名	6名

## EUキャンパスプログラム2024

プログラム名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
ドイツ語・異文化理解 EUキャンパスプログラム	同志社大学チュービンゲンEUキャンパス (チュービンゲン大学)	ドイツ	約15名	10名	17名	15名
ヨーロッパ・スタディーズ EUキャンパスプログラム	同志社大学チュービンゲンEUキャンパス (チュービンゲン大学)	ドイツ	約15名	10名	25名	15名





## 同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

(目的)  
第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。

(定義)  
第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。

(取扱い)  
第3条 外国協定大学派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規」の定めるところによる。

(出願条件)  
第4条 外国協定大学派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。

(義務)  
第5条 外国協定大学派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。

(推薦方法)  
第6条 外国協定大学派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務(国際)主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。

(候補者の決定)  
第7条 外国協定大学派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入れ決定に基づき、学長がこれを行う。

(留学期間)  
第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務(国際)主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。

(事務)  
第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)  
第10条 この内規の改廃は、教務(国際)主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則  
この内規は、2015年4月1日から施行する。

## 同志社大学外国派遣留学促進のための奨学金規程

(目的)  
第1条 この規程は、本学の教育理念である国際主義を体得した学生を養成すべく学生の外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金について定める。

(奨学金の種類)  
第2条 奨学金の種類は、次のとおりとする。  
(1) 海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金  
(2) サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金  
(3) セメスタープログラム履修者に対する奨学金  
(4) EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金  
(5) 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金  
(6) 認定留学生に対する奨学金

(奨学金の取扱い)  
第3条 奨学金の取扱いについては、別途、申合せにて定める。

(事務)  
第4条 この規程に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取扱う。

(改廃)  
第5条 この規程の改廃は、教務[国際]主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則  
この規程は、2020年4月1日から施行する。

## 外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

(設置)  
第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

(教育機関の定義)  
第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。  
2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

(留学の定義)  
第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

(条件)  
第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。  
(1) 本学に1年以上在学していること。  
(2) 30単位以上修得していること。  
2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

(学籍)  
第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

(期間)  
第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。  
2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)  
第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)  
第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)  
第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。  
2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。  
3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)  
第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類(留学した大学の発行するもの)を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。  
(1) 成績証明書(時間数、単位数、科目名を明記したもの)  
(2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの  
(3) 受講した科目の内容を説明した教授細目  
(4) 大学履修要項  
2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)  
第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)  
第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)  
第13条 この内規の改廃は、教務(国際)主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則  
この内規は、2015年4月1日から施行する。

### お問い合わせ先

同志社大学国際センター国際課(扶桑館1F)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL : 075-251-3260

Email : [ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp)

HP : <https://international.doshisha.ac.jp/oia/index.html>



国際課(京田辺校地嗣業館1F)

TEL : 0774-65-7066

**国際課 HP(留学プログラム)**

[https://international.doshisha.ac.jp/oia/study\\_abroad\\_program/overview.html](https://international.doshisha.ac.jp/oia/study_abroad_program/overview.html)

